

龍ヶ崎市ごみ処理基本計画策定

# アンケート調査結果報告書

平成20年3月

龍ヶ崎市



# 目 次

第 I 編 市民意識調査結果 -----	1
1. 調査概要 -----	3
2. 回答者の概要 -----	5
3. 調査結果 -----	7
4. 総括 -----	32
第 II 編 事業者意識調査結果 -----	35
1. 調査概要 -----	37
2. 回答事業所の概要 -----	39
3. 調査結果 -----	40
4. 総括 -----	65
第 III 編 自由意見 -----	67
<資料> 調査票	



## 第 1 編 市民意識調査結果



## 1. 調査概要

### 1.1 調査目的

ごみ処理基本計画の策定にあたり、市民のごみ排出やリサイクルに関する意識および取り組みの実態、将来に向けた協力意識等を把握して、今後の施策検討の参考とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

### 1.2 調査対象

- (1) 調査地域 龍ヶ崎市
- (2) 対象者 龍ヶ崎市内に居住する満 20 歳以上の市民
- (3) 標本数 2,000 件
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

### 1.3 調査方法

質問用紙郵送法

### 1.4 調査年月

平成 19 年 12 月

### 1.5 調査票の回収状況

- (1) 調査票発送数 2,000 通 (うち 11 通が宛先不明のため返送)
- (2) 回収数 884 通
- (3) 回収率 44.2% (調査票到着数に対しては 44.4%)

## 1.6 調査結果の見方

### (1) 回答割合について

- ・質問ごとに各項目の回答者実数を調査数（＝回答者総数）で除し、百分率（パーセント）で表示しています。
- ・回答割合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。
- ・単数回答（選択肢から1つだけ回答する場合）は、回答割合の合計が100%になるよう調整してあります。
- ・複数回答（選択肢から2つ以上選択してよい場合）は、回答割合の合計は100%を上回るようになります。

### (2) 選択肢の用語解説

- ・無効：単数回答の質問に複数回答している場合や3つ以内を選択する質問に4つ以上回答している場合
- ・無回答：回答が記入されていない場合

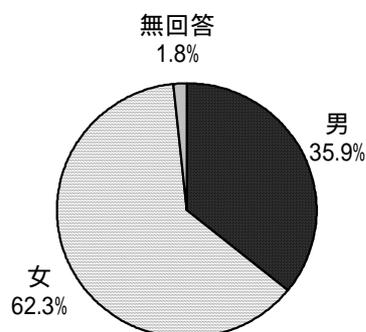
## 2. 回答者の概要

今回のアンケート調査に対する回答者（884人）の基礎的事項は以下のとおりです。

### 問1 基礎項目

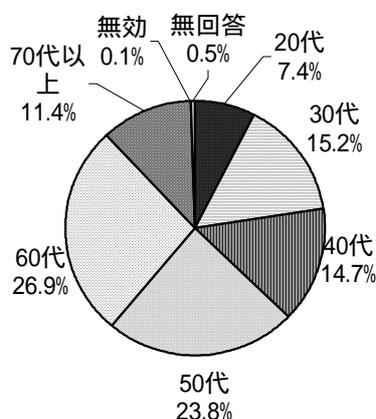
#### (1) 性別

選択肢	実数	割合
男	317	35.9%
女	551	62.3%
無効	0	-
無回答	16	1.8%
調査数	884	100.0%



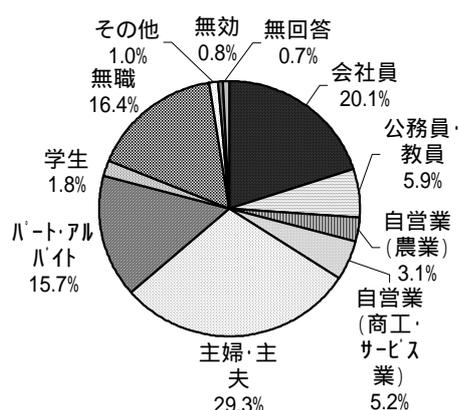
#### (2) 年代

選択肢	実数	割合
20代	65	7.4%
30代	134	15.2%
40代	130	14.7%
50代	210	23.8%
60代	239	26.9%
70代以上	101	11.4%
無効	1	0.1%
無回答	4	0.5%
調査数	884	100.0%



#### (3) 職業

選択肢	実数	割合
会社員	178	20.1%
公務員・教員	52	5.9%
自営業(農業)	27	3.1%
自営業(商工・サービス業)	46	5.2%
主婦・主夫	259	29.3%
パート・アルバイト	139	15.7%
学生	16	1.8%
無職	145	16.4%
その他	9	1.0%
無効	7	0.8%
無回答	6	0.7%
調査数	884	100.0%

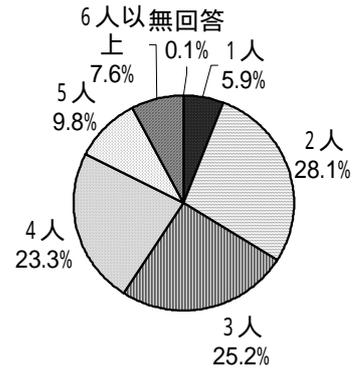


#### < その他の回答 >

置職人、電気工事、派遣社員、介護支援専門員、年金受給者等

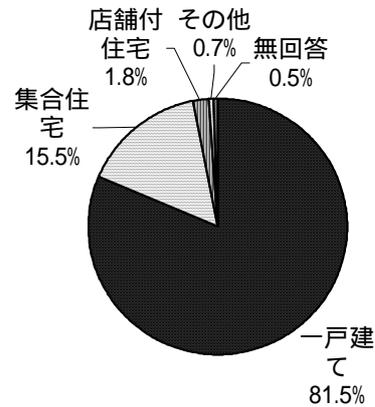
(4) 世帯人員

選択肢	実数	割合
1人	52	5.9%
2人	248	28.1%
3人	223	25.2%
4人	206	23.3%
5人	87	9.8%
6人以上	67	7.6%
無効	0	-
無回答	1	0.1%
調査数	884	100.0%



(5) 住居形態

選択肢	実数	割合
一戸建て	721	81.5%
集合住宅	137	15.5%
店舗付住宅	16	1.8%
その他	6	0.7%
無効	0	-
無回答	4	0.5%
調査数	884	100.0%

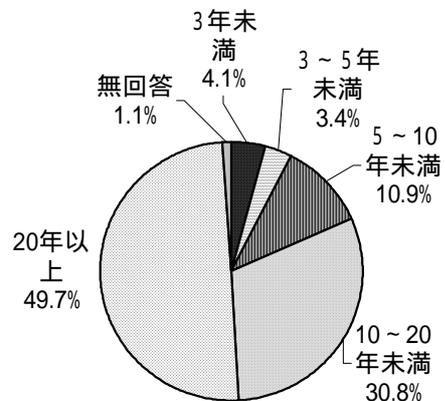


< その他の回答 >

タウンハウス、借家

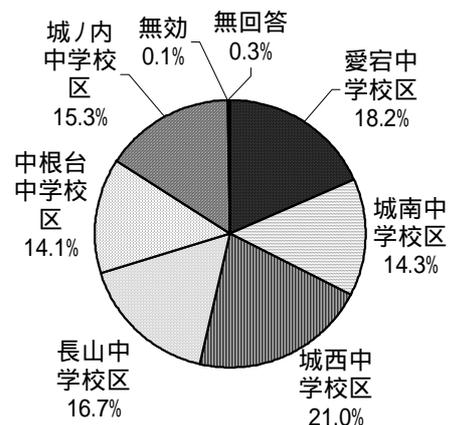
(6) 居住年数

選択肢	実数	割合
3年未満	36	4.1%
3～5年未満	30	3.4%
5～10年未満	96	10.9%
10～20年未満	272	30.8%
20年以上	440	49.7%
無効	0	-
無回答	10	1.1%
調査数	884	100.0%



(7) 住んでいる地区 (中学校区)

選択肢	実数	割合
愛宕中学校区	161	18.2%
城南中学校区	126	14.3%
城西中学校区	185	21.0%
長山中学校区	148	16.7%
中根台中学校区	125	14.1%
城ノ内中学校区	135	15.3%
無効	1	0.1%
無回答	3	0.3%
調査数	884	100.0%

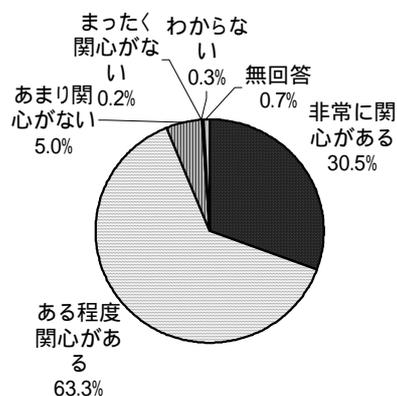


### 3. 調査結果

#### 3.1 ごみに関する意識・取り組みについて

問2 あなたは、ごみ問題にどの程度関心がありますか。( は1つ)

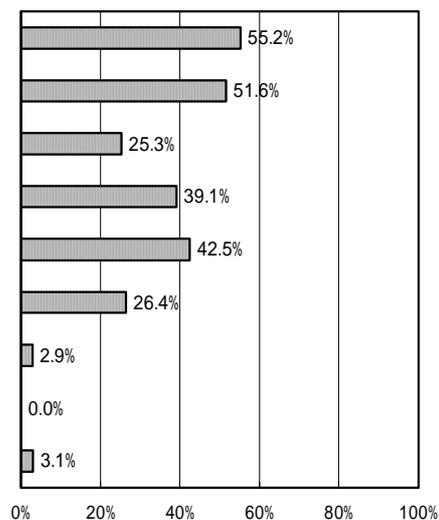
選択肢	実数	割合
非常に関心がある	270	30.5%
ある程度関心がある	559	63.3%
あまり関心がない	44	5.0%
まったく関心がない	2	0.2%
わからない	3	0.3%
無効	0	-
無回答	6	0.7%
調査数	884	100.0%



ごみ問題に対しては、「ある程度関心がある」が63.3%を占めています。「非常に関心がある」(30.5%)と合わせると、94%近くの方がごみ問題に関心を持っています。

問3 問2において、「1, 2」に をつけた方にお伺いします。あなたが関心あるごみ問題は何か。( は3つまで)

選択肢	実数	割合
使い捨てによって、資源が浪費されていること	458	55.2%
ごみが大量に排出され、その処理が追いつかなくなること	428	51.6%
ごみの埋立地(最終処分場)が不足すること	210	25.3%
ごみ処理費用がかさみ、市の財政に負担を与えていること	324	39.1%
粗大ごみや家電製品などの不法投棄が多いこと	352	42.5%
ごみの散乱などで、まちの美観が損なわれていること	219	26.4%
その他	24	2.9%
無効	0	-
無回答	26	3.1%
回答数(累計)	2,041	
調査数	829	



< その他の回答 >

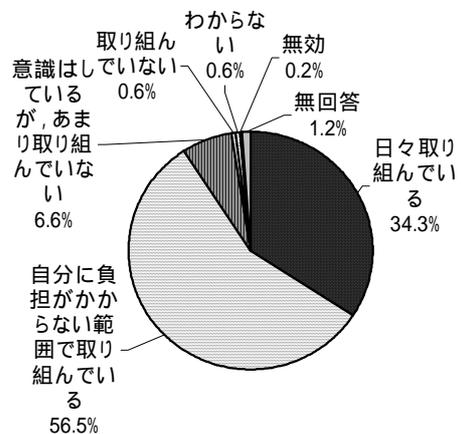
- ・ CO<sub>2</sub> 削減に取り組む必要があると思う。大量のごみ処理に伴う二酸化炭素の排出。地球温暖化への影響。
- ・ リサイクルされるべきごみがゴミとして処理されていること。資源になるようなものが捨てられていること。
- ・ 生ごみ等の堆肥化施設を作り。有機農業への転換に役立てる。
- ・ ごみの有料化。ごみ処理費用がかさみ個人負担が増えること。
- ・ 指定日以外の投棄。きちんと分別されているか、決まりごとが守られているか。
- ・ 自家焼却する人・企業が多く、排煙が有害。
- ・ ごみ処理場建設問題

他

関心があるごみ問題は、「資源の浪費」、「ごみの大量排出」、「不法投棄」、「ごみ処理費用」の順に多く、その他の回答では、二酸化炭素の排出による地球温暖化への影響やさらなるリサイクルの推進等が挙げられています。

問 4 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。( は1つ )

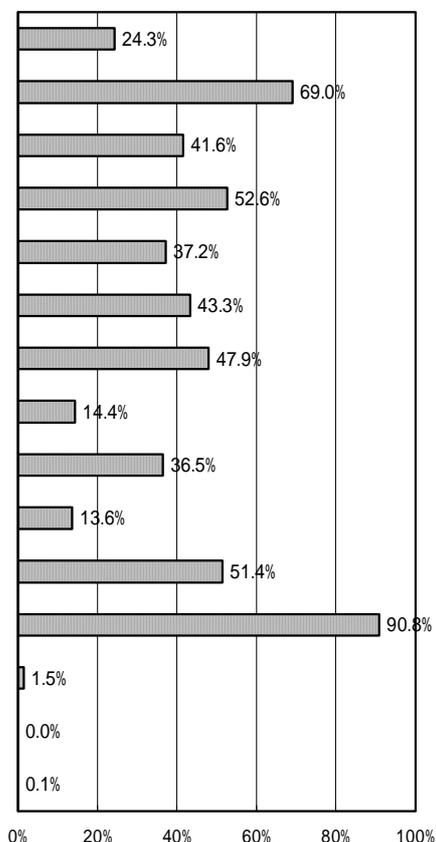
選択肢	実数	割合
日々取り組んでいる	303	34.3%
自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる	500	56.5%
意識はしているが、あまり取り組んでいない	58	6.6%
取り組んでいない	5	0.6%
わからない	5	0.6%
無効	2	0.2%
無回答	11	1.2%
調査数	884	100.0%



ごみ減量やリサイクルの取り組みについては、「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」が 56.5% で最も多く、次に「日々取り組んでいる」が 34.3% となっており、取り組みをしている人は 90% を超えています。

問5 問4において、「1, 2」に つけた方にお伺いします。あなたが行っている取  
り組みは、具体的にどのようなものですか。( はいくつでも)

選択肢	実数	割合
使い捨て商品の購入を控えている	195	24.3%
詰め替え商品を積極的に利用している	554	69.0%
過剰包装やレジ袋を断っている	334	41.6%
買い物袋(マイバッグ)を持参している	422	52.6%
計画的に買い物を行い,無駄な物をできるだけ 購入しないようにしている	299	37.2%
食べ残しが出ないようにしている	348	43.3%
生ごみは,水を切り,減量してから出している	385	47.9%
生ごみ処理機などを使用して,生ごみを減量・ 堆肥化している	116	14.4%
物はできるだけ長く使い,故障したものは,修理 して再度使用している	293	36.5%
リサイクルショップやバザーなどを積極的に利 用している	109	13.6%
燃やすごみにならないよう,雑がみの分別を徹 底して資源物に出している	413	51.4%
カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底して資源物 に出している	729	90.8%
その他	12	1.5%
無効	0	-
無回答	1	0.1%
回答数(累計)	4,210	
調査数	803	



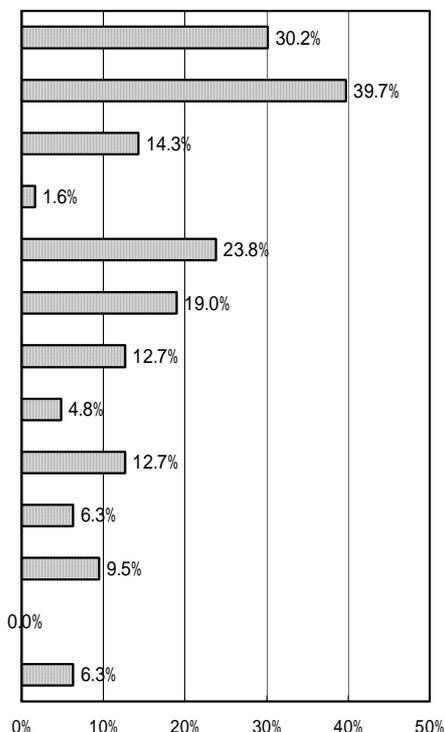
< その他の回答 >

- ・生ゴミをたい肥にして野菜の肥料にしている。庭の草等も生ごみと一緒にコンポストに入れ堆肥化。落ち葉を堆肥にするよう心がけている。生ごみは一切出さない。
  - ・会議等で出されるペットボトルを湯のみ茶碗にきりかえる。枝・木・草は乾燥させてから出す。
  - ・牛乳パックはカスミのリサイクルに入れる。
  - ・アルミ缶を車椅子に交換する運動に参加。
- 他

具体的な取り組みとして最も多いものは、「カン・ビン・ペットボトルの分別の徹底」で90%を超えており、続いて「詰め替え商品の積極的な利用」69.0%、「買い物袋(マイバッグ)の持参」52.6%、「雑がみの分別の徹底」51.4%等の取り組みが多く行われています。

問6 問4において、「3, 4」に つけた方にお伺いします。あなたがごみの減量やリサイクルに関する取り組みをしない理由は何ですか。( は3つまで)

選択肢	実数	割合
めんどうだから	19	30.2%
ごみの減量やリサイクルの方法がわからないから	25	39.7%
自分一人やっても効果がないと思うから	9	14.3%
減量やリサイクルする必要はないと考えているから	1	1.6%
リサイクル製品や詰め替え製品よりも価格を優先するから	15	23.8%
過剰包装やレジ袋を断ることができないから	12	19.0%
家庭内にごみや資源物を保管するスペースがないから	8	12.7%
減量化やリサイクルのためにお金がかかるから	3	4.8%
中古製品を購入・使用するのにためらいがあるから	8	12.7%
リサイクル製品の性能・品質に疑問を感じるから	4	6.3%
その他	6	9.5%
無効	0	-
無回答	4	6.3%
回答数(累計)	114	
調査数	63	



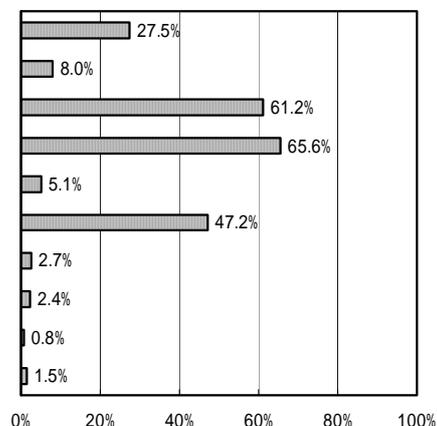
< その他の回答 >

- ・自分の会社の有料のゴミ屋さんに回収してもらっている。
- ・親がやってくれるから。
- ・分別しても結局一緒に燃やすと聞いたから。
- ・食品のトレーは不要。売る側の改善も必要。

ごみ減量やリサイクルに取り組んでいない理由としては、「方法がわからない」が39.7%、「めんどう」30.2%、「価格の優先」23.8%となっています。

問7 ごみ問題に関する知識や情報をどのように得ていますか。( は3つまで)

選択肢	実数	割合
家族・友人・知人	243	27.5%
学校・職場	71	8.0%
テレビ・新聞・書籍	541	61.2%
市広報紙	580	65.6%
市ホームページ	45	5.1%
啓発用パンフレット(ごみ・資源物の出し方など)	417	47.2%
イベント・キャンペーン	24	2.7%
その他	21	2.4%
無効	7	0.8%
無回答	13	1.5%
回答数(累計)	1,962	
調査数	884	



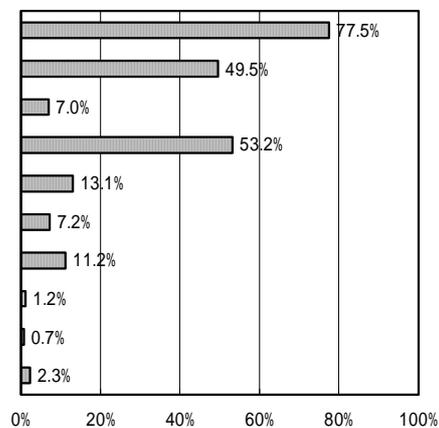
< その他の回答 >

- ・インターネット。ニュースホームページ。
  - ・apバンクや未来バンクの活動を通して。土浦友の会の生活勉強。ごみ減量さんさん館に参加。
  - ・地区の缶拾いに参加。地区の集まり。
  - ・担当職員に聞く。わからないときは、市役所に電話する。
  - ・議員さんの議会報告パンフレット等。
  - ・家内の指導。
  - ・もともと興味がある。自分自身で考える。
  - ・得ていない。別がない。
- 他

ごみ問題に関する情報源として多い回答は、「市広報紙」が65.6%、「テレビ・新聞・書籍」が61.2%となっています。

問 8 ごみ問題の取り組み状況やごみの減量化・リサイクルの方法などの情報に関して、今後どのような形で知らせてもらえば理解しやすいですか。( は3つまで)

選択肢	実数	割合
市広報紙(りゅうほう)	685	77.5%
市広報紙(特集号)・チラシ	438	49.5%
市ホームページ	62	7.0%
回覧	470	53.2%
ポスター	116	13.1%
市民懇談会・説明会	64	7.2%
イベント・キャンペーン	99	11.2%
その他	11	1.2%
無効	6	0.7%
無回答	20	2.3%
回答数(累計)	1,971	
調査数	884	



< その他の回答 >

- ・ 広報を強制で配布を希望。
  - ・ ごみ問題に関する特集号を発行してほしい。
  - ・ 班長に指導し、班単位で説明会を開く。各町ごとに説明会の開催。一人一人に言い伝えること。
  - ・ 各町のごみステーションに出向き、状況を見て現場で助言する。
  - ・ テレビ・新聞
  - ・ 学校でもとりくむ必要がある。
  - ・ 別がない。
- 他

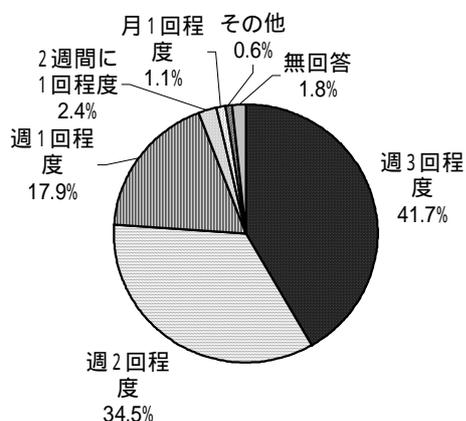
ごみ等に関する情報の提供方法は、「市広報紙(りゅうほう)」77.5%、「回覧」53.2%、「市広報紙(特集号)・チラシ」49.5%の順に多く、戸別に配布・回覧される方法を望む声が多くなっています。

### 3.2 ごみの分別収集・排出について

問9 あなたの家庭では、どのくらいの頻度でゴミを出していますか。ゴミの種類ごとに  
お答えください。( はごみの種類別に1つ)

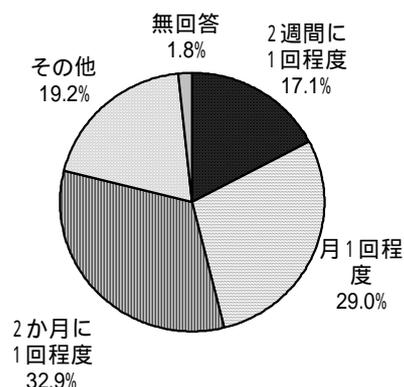
[燃やすごみ]

選択肢	実数	割合
週3回程度	369	41.7%
週2回程度	305	34.5%
週1回程度	158	17.9%
2週間に1回程度	21	2.4%
月1回程度	10	1.1%
その他	5	0.6%
無効	0	-
無回答	16	1.8%
調査数	884	100.0%



[燃やさないごみ]

選択肢	実数	割合
2週間に1回程度	151	17.1%
月1回程度	256	29.0%
2か月に1回程度	291	32.9%
その他	170	19.2%
無効	0	-
無回答	16	1.8%
調査数	884	100.0%

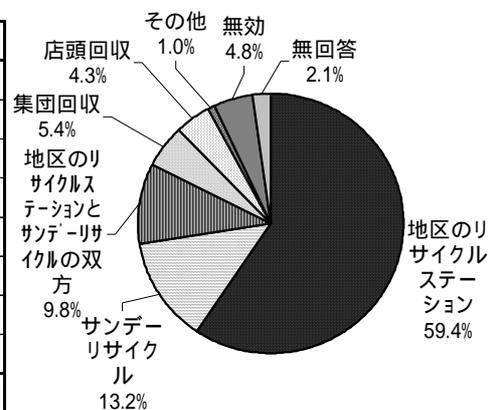


ごみの排出頻度については、燃やすごみは「週3回」41.7%、「週2回」34.5%、「週1回」17.9%となっており、排出頻度は高い状況にあります。燃やさないごみは、「2ヶ月に1回程度」が最も多く32.9%、次に「月1回程度」29.0%、「2週間に1回程度」17.1%となっています。

問 10 龍ヶ崎市では、資源物は地区のリサイクルステーション（月 2 回）のほか、毎週日曜日のサンデーリサイクル（3 拠点）でも出すことができます。

あなたの家庭では、資源物をおもにどこに出していますか。（ は 1 つ）

選択肢	実数	割合
地区のリサイクルステーション	524	59.4%
サンデーリサイクル	117	13.2%
地区のリサイクルステーションとサンデーリサイクルの双方	87	9.8%
集団回収	48	5.4%
店頭回収	38	4.3%
その他	9	1.0%
無効	42	4.8%
無回答	19	2.1%
調査数	884	100.0%



< その他の回答 >

- ・ 会社。
- ・ スーパー等。
- ・ 店頭回収、古紙回収、リサイクルステーション、サンデーリサイクル。
- ・ 子ども会・店頭・地区
- ・ 実家に持って行き、処分してもらう。
- ・ 別がない。
- ・ 知らない。

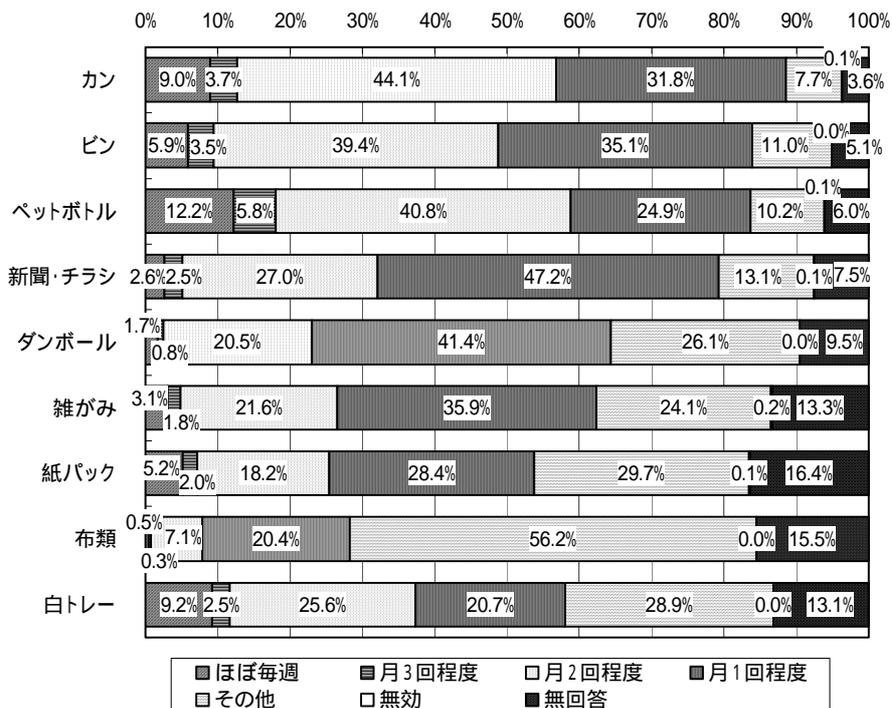
他

資源物のおもな排出先は、「地区のリサイクルステーション」が 59.4%と最も多くなっています。また、市による回収である「地区のリサイクルステーション」と「サンデーリサイクル」を合わせると 80%を超えています。

問 1 1 あなたの家庭では、どのくらいの頻度で資源物を出していますか。資源物の種類ごとにお答えください。( は各項目 1 つ)

選択肢	カン		ビン		ペットボトル		新聞・チラシ		ダンボール	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
ほぼ毎週	80	9.0%	52	5.9%	108	12.2%	23	2.6%	15	1.7%
月3回程度	33	3.7%	31	3.5%	51	5.8%	22	2.5%	7	0.8%
月2回程度	389	44.1%	349	39.4%	361	40.8%	239	27.0%	181	20.5%
月1回程度	281	31.8%	310	35.1%	220	24.9%	417	47.2%	366	41.4%
その他	68	7.7%	97	11.0%	90	10.2%	116	13.1%	231	26.1%
無効	1	0.1%	0	-	1	0.1%	1	0.1%	0	-
無回答	32	3.6%	45	5.1%	53	6.0%	66	7.5%	84	9.5%
調査数	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%

選択肢	雑がみ		紙パック		布類		白トレー	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
ほぼ毎週	27	3.1%	46	5.2%	4	0.5%	81	9.2%
月3回程度	16	1.8%	18	2.0%	3	0.3%	22	2.5%
月2回程度	191	21.6%	161	18.2%	63	7.1%	226	25.6%
月1回程度	317	35.9%	251	28.4%	180	20.4%	183	20.7%
その他	213	24.1%	262	29.7%	497	56.2%	256	28.9%
無効	2	0.2%	1	0.1%	0	-	0	-
無回答	118	13.3%	145	16.4%	137	15.5%	116	13.1%
調査数	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%



資源物の排出頻度については、カン、ビン、ペットボトルは、「月2回程度」の排出が最も多く、次に「月1回程度」が多くなっています。また、ペットボトルは、「ほぼ毎週」や「月3回程度」も他の品目に比べて高い割合となっています。

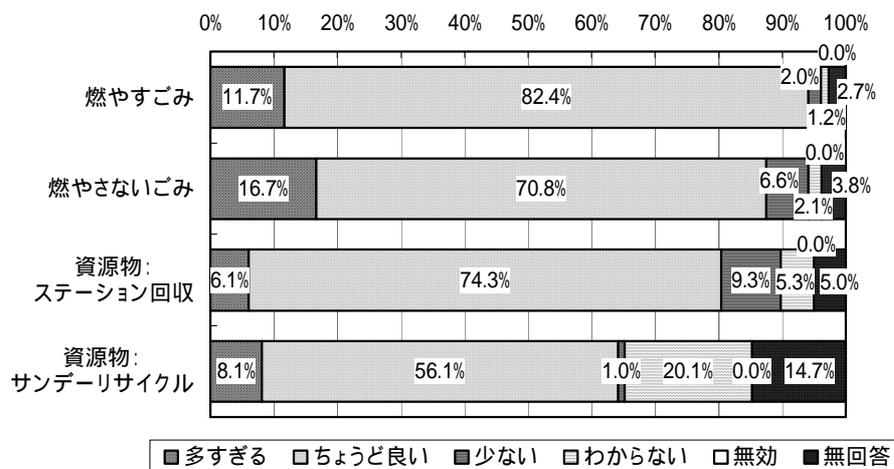
紙類（新聞・チラシ、ダンボール、雑がみ、紙パック）については、「月1回程度」の排出が多い傾向にあり、「月2回程度」や「その他」も多くなっています。

布類は、「その他」が50%を超えており、月1回程度以上の頻度で排出している人は30%未満となっています。

白トレーは、多い順に「その他」、「月2回程度」、「月1回程度」となっており、他の品目と比べて、排出頻度にばらつきが見られます。

問12 ごみや資源物の収集回数について、あなたの家庭の実際の排出頻度と照らし合わせて、どうお考えですか。下記の区分ごとにお答えください。（は各項目1つ）

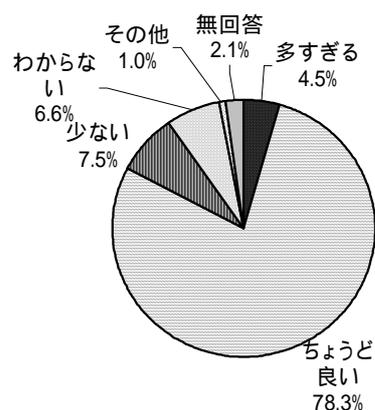
選択肢	燃やすごみ (週3回)		燃やさないごみ (月2回)		資源物:ステーション回収 (月2回)		資源物:サンデーリサイクル (毎週)	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
多すぎる	103	11.7%	148	16.7%	54	6.1%	72	8.1%
ちょうど良い	728	82.4%	625	70.8%	657	74.3%	495	56.1%
少ない	18	2.0%	58	6.6%	82	9.3%	9	1.0%
わからない	11	1.2%	19	2.1%	47	5.3%	178	20.1%
無効	0	-	0	-	0	-	0	-
無回答	24	2.7%	34	3.8%	44	5.0%	130	14.7%
調査数	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%	884	100.0%



収集回数は、すべての品目で「ちょうど良い」が最も多い回答となっています。なお、収集回数が「少ない」という回答は、資源物のステーション回収について 9.3%となっていますが、燃やすごみ、燃やさないごみについては、「少ない」よりも「多すぎる」のほうが多い結果となっています。

問 1 3 あなたは、現在の資源物の収集品目について、どうお考えですか。( は 1 つ )

選択肢	実数	割合
多すぎる	40	4.5%
ちょうど良い	692	78.3%
少ない	66	7.5%
わからない	58	6.6%
その他	9	1.0%
無効	0	-
無回答	19	2.1%
調査数	884	100.0%



< その他の回答 >

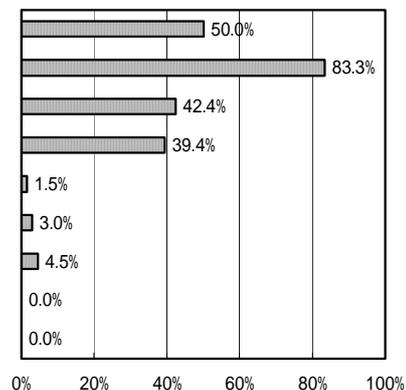
- ・費用のことも含め、品目や利用方法も考えなおすべき。
- ・不法投棄対策のため、収集品目を多くする。
- ・細かく分けてもいい。
- ・粗大ごみの資源化。
- ・白トレイ以外のトレイやヨーグルトの容器等も進めてほしい。

他

現在の資源物の収集品目については、「ちょうど良い」が 78.3% で大半を占めています。

問14 問13において、「3」に つけた方にお伺いします。資源物の収集品目を追加した場合に、あなたが日常的に取り組むことができるものは何ですか。( はいくつでも)

選択肢	実数	割合
食用廃油を貯めておき、回収に出すこと	33	50.0%
プラスチック製容器包装の分別を徹底して出すこと	55	83.3%
異物をきちんと取り除いてから、生ごみを出すこと	28	42.4%
枝・木を一定のサイズにそろえて出すこと	26	39.4%
特に取り組むことはない	1	1.5%
わからない	2	3.0%
その他	3	4.5%
無効	0	-
無回答	0	-
回答数(累計)	148	
調査数	66	



< その他の回答 >

- ・プラスチック類のリサイクル種類別回収、布類で対象外となっている綿等の回収。
- ・ビニール袋、容器、プラ製品。

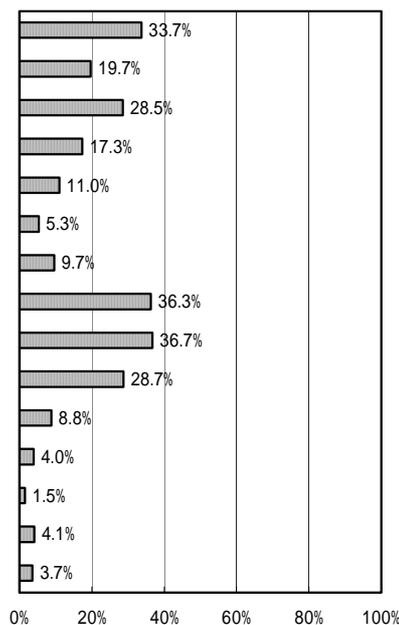
資源物として日常的に分別できるものは、「プラスチック製容器包装」が最も多く 83.3% です。続いて、「食用廃油」、「生ごみ」、「枝・木」となっています。

### 3.3 ごみの減量・リサイクルの推進について

問15 龍ヶ崎市の平成18年度の一般廃棄物の排出量は約3万トンです。そのうち約8割が一般家庭から出されたもので、増加傾向にあります。

家庭ごみの減量・リサイクルなどを進めるうえで、あなたが特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。( は3つまで)

選択肢	実数	割合
ごみの減量や分別方法に関する情報提供の充実	298	33.7%
環境やごみに関する学校教育の充実	174	19.7%
ごみの減量化・リサイクルに関する啓発活動の充実	252	28.5%
生ごみ処理容器・処理機器購入補助制度の充実	153	17.3%
資源物の回収品目の増加	97	11.0%
家庭ごみの有料化	47	5.3%
市民と行政などの協働の取り組みの充実	86	9.7%
事業者が製造段階からごみになりにくい商品を開発	321	36.3%
事業者が過剰包装やレジ袋を削減	324	36.7%
事業者が買い替え時に不用品を回収	254	28.7%
事業者によるリサイクル費用負担の拡大	78	8.8%
法律の制定など、国・県に対する働きかけ	35	4.0%
その他	13	1.5%
無効	36	4.1%
無回答	33	3.7%
回答数(累計)	2,201	
調査数	884	



#### < その他の回答 >

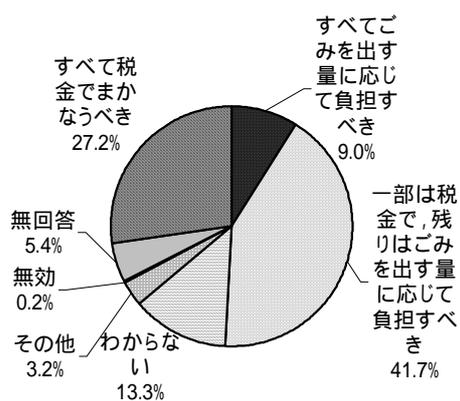
- ・家電製品などの修理代が高い。部品代のみで修理できるようになればゴミも減ると思う。
- ・スーパーの食品トレーを全てリサイクルできる白トレーにする。
- ・生ごみの堆肥化(企業を募り・補助金回収ルート作り)
- ・資源物回収を全員で実施するには、通常収集における資源物収集が必要。
- ・個人の意識を高めること。情報提供等を充実しても耳を傾けなければ改善されない。
- ・日本全国、企業から一人一人までごみ問題を強く意識させる。 他

家庭ごみの減量・リサイクル推進のために力を入れるべきことは、「事業者が過剰包装やレジ袋を削減」、「事業者が製造段階からごみになりにくい商品を開発」、「事業者が買い替え時に不要品を回収」等の事業者側の対応を求める回答と、「情報提供の充実」や「啓発活動の充実」が多くなっています。

### 3.4 排出量に応じたごみ処理費用の負担について

問16 龍ヶ崎市では、安心・安全なごみ処理のため、毎年16億円もの税金が使われています。ごみの排出量に関係のない現在の仕組みは不公平であるため、電気や水道などのようにサービスに応じた費用負担として、減量に心がける方は負担が軽く、ごみを多く出す方は相応の負担となる仕組みとすべきとの意見がありますが、あなたはどのようにお考えですか。( は1つ)

選択肢	実数	割合
すべて税金でまかなうべき	240	27.2%
一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき	368	41.7%
すべてごみを出す量に応じて負担すべき	80	9.0%
わからない	118	13.3%
その他	28	3.2%
無効	2	0.2%
無回答	48	5.4%
調査数	884	100.0%



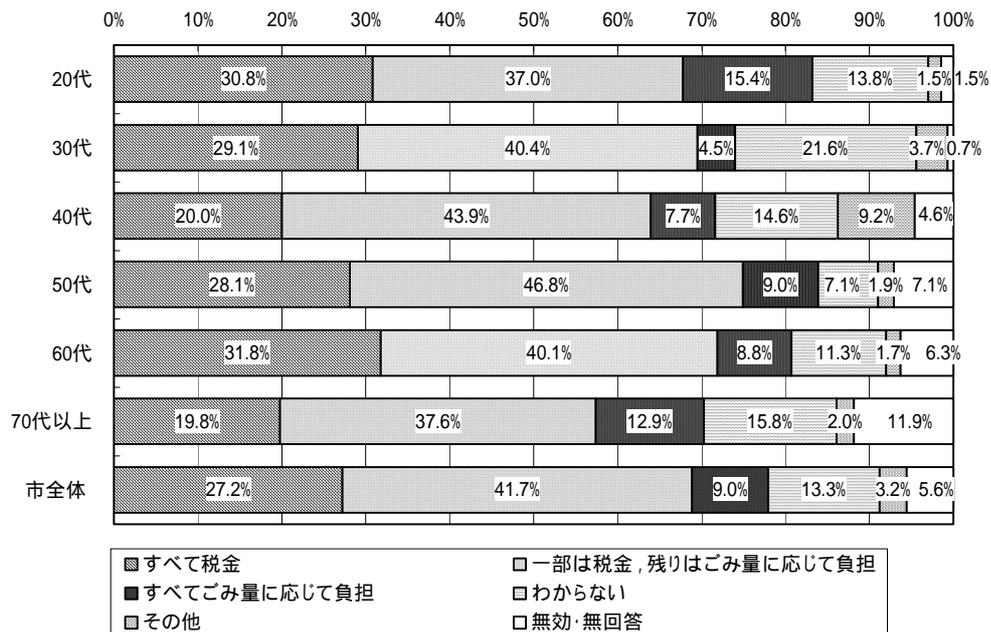
#### < その他の回答 >

- ・一部費用負担がよいと思うが、不法投棄が増えると思うので、その処分のために税金が使われるのではないが。
  - ・基本的には有料化で良いと思うが、落ち葉や枝などは別扱いにしないといけないと思う。
  - ・全て税金でまかなってほしいが、ごみ量が増えれば、市民の負担も仕方ない。
  - ・減量を心がけている家庭でもやむを得ず増えてしまう場合もあり難しい。
  - ・各家庭のごみ状況、年収は違う。年収も少なく、ごみにも気を使う家庭にとっては、負担が多くなっては困る。
  - ・減量に心がける人の負担がどの程度軽いのかわからなければ、答えられない。
  - ・もっと減少させる方策をPRすべき。
- 他

ごみ処理費用の負担については、「一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき」が41.7%で最も多く、「すべてごみを出す量に応じて負担すべき」9.0%と合わせると、50%を超える人が排出量に応じた費用負担にすべきであると考えています。反対に、「すべて税金でまかなうべき」という考えは27.2%となっています。

(1) 年代別集計結果

選択肢		問16 ごみの排出量に応じた費用負担について							合計	
		すべて税金で まかなうべき	一部は税金で、 残りはごみを 出す量に応じて 負担すべき	すべてごみを 出す量に応じて 負担すべき	わから ない	その他	無効	無回答		
問 1 年 代	20代	実数	20	24	10	9	1	1	0	65
		割合	30.8%	37.0%	15.4%	13.8%	1.5%	1.5%	-	100.0%
	30代	実数	39	54	6	29	5	0	1	134
		割合	29.1%	40.4%	4.5%	21.6%	3.7%	-	0.7%	100.0%
	40代	実数	26	57	10	19	12	0	6	130
		割合	20.0%	43.9%	7.7%	14.6%	9.2%	-	4.6%	100.0%
	50代	実数	59	98	19	15	4	0	15	210
		割合	28.1%	46.8%	9.0%	7.1%	1.9%	-	7.1%	100.0%
	60代	実数	76	96	21	27	4	0	15	239
		割合	31.8%	40.1%	8.8%	11.3%	1.7%	-	6.3%	100.0%
	70代以上	実数	20	38	13	16	2	1	11	101
		割合	19.8%	37.6%	12.9%	15.8%	2.0%	1.0%	10.9%	100.0%
	無効	実数	0	0	1	0	0	0	0	1
		割合	-	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%
無回答	実数	0	1	0	3	0	0	0	4	
	割合	-	25.0%	-	75.0%	-	-	-	100.0%	
合計	実数	240	368	80	118	28	2	48	884	
	割合	27.2%	41.7%	9.0%	13.3%	3.2%	0.2%	5.4%	100.0%	



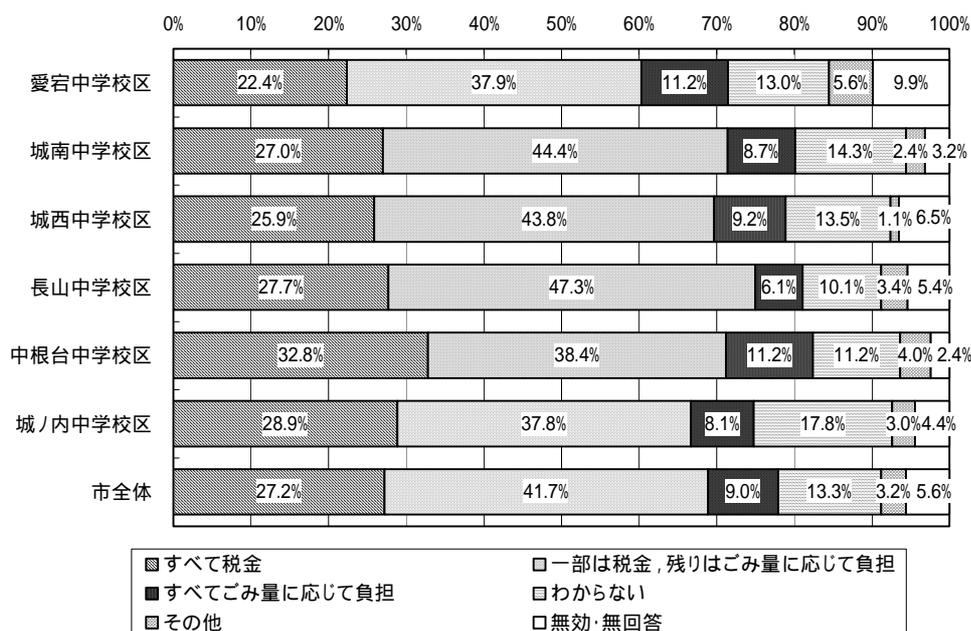
ごみ処理費用の負担について、年代別にみると、どの年代においても「一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき」が4割前後で最も多くなっています。

「すべて税金でまかなうべき」は、20代、30代、50代、60代では3割程度ですが、40代、70代以上では2割程度となっています。

また、「すべてごみを出す量に応じて負担すべき」は、20代と70代以上では10%を超えており、他の年代より多い回答となっていますが、30代は5%程度と少なくなっています。

(2) 地区別集計結果

選択肢		問16 ごみの排出量に応じた費用負担について							合計	
		すべて税金でまかなうべき	一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき	すべてごみを出す量に応じて負担すべき	わからない	その他	無効	無回答		
問1 住んでいる地区	愛宕中学校区	実数	36	61	18	21	9	1	15	161
		割合	22.4%	37.9%	11.2%	13.0%	5.6%	0.6%	9.3%	100.0%
	城南中学校区	実数	34	56	11	18	3	0	4	126
		割合	27.0%	44.4%	8.7%	14.3%	2.4%	-	3.2%	100.0%
	城西中学校区	実数	48	81	17	25	2	0	12	185
		割合	25.9%	43.8%	9.2%	13.5%	1.1%	-	6.5%	100.0%
	長山中学校区	実数	41	70	9	15	5	0	8	148
		割合	27.7%	47.3%	6.1%	10.1%	3.4%	-	5.4%	100.0%
	中根台中学校区	実数	41	48	14	14	5	0	3	125
		割合	32.8%	38.4%	11.2%	11.2%	4.0%	-	2.4%	100.0%
	城ノ内中学校区	実数	39	51	11	24	4	0	6	135
		割合	28.9%	37.8%	8.1%	17.8%	3.0%	-	4.4%	100.0%
	無効	実数	0	0	0	0	0	1	0	1
		割合	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%
	無回答	実数	1	1	0	1	0	0	0	3
		割合	33.3%	33.3%	-	33.4%	-	-	-	100.0%
合計	実数	240	368	80	118	28	2	48	884	
	割合	27.2%	41.7%	9.0%	13.3%	3.2%	0.2%	5.4%	100.0%	

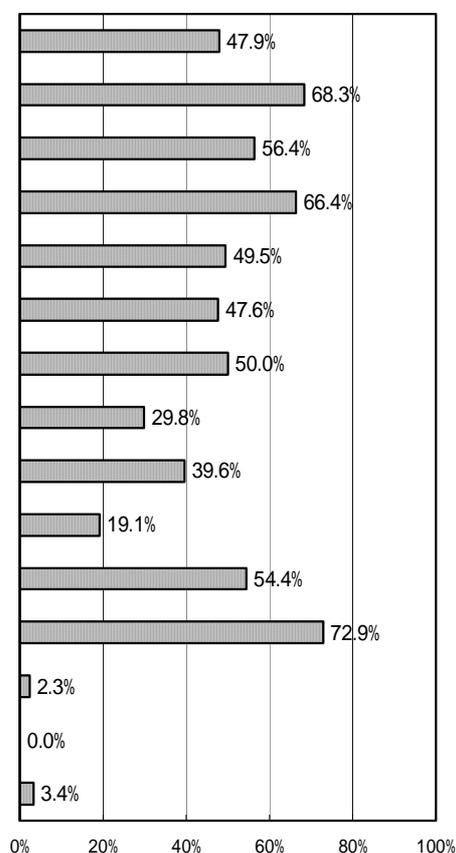


地区別の結果は、どの地区も市全体の結果とおおむね同様の傾向にあります。

市全体と比べると、「すべて税金でまかなうべき」は愛宕中学校区で少なくなっています。「一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき」は、愛宕中学校区、中根台中学校区、城ノ内中学校区で4割未満と少なく、長山中学校区は他と比べて多い結果となっています。「すべてごみを出す量に応じて負担すべき」は、愛宕中学校区、中根台中学校区では10%を超えています。

問 17 仮に、ごみの排出量に応じた費用負担の仕組みとなった場合、あなたは具体的にどのような取り組みを行いますか。( はいくつでも )

選択肢	実数	割合
使い捨て商品の購入を控える	423	47.9%
詰め替え商品を積極的に利用する	604	68.3%
過剰包装やレジ袋を断る	499	56.4%
買い物袋(マイバッグ)を持参する	587	66.4%
計画的に買い物を行い、無駄な物をできるだけ購入しないようにする	438	49.5%
食べ残しが出ないようにする	421	47.6%
生ごみは、水を切り、減量してから出す	442	50.0%
生ごみ処理機などを使用して、生ごみを減量・堆肥化する	263	29.8%
物はできるだけ長く使い、故障したものは、修理して再度使用する	350	39.6%
リサイクルショップやバザーなどを積極的に利用する	169	19.1%
燃やすごみにならないよう、雑がみの分別を徹底して資源物に出す	481	54.4%
カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底して資源物に出す	644	72.9%
その他	20	2.3%
無効	0	-
無回答	30	3.4%
回答数(累計)	5,371	
調査数	884	



< その他の回答 >

- ・ 枯れ草・枝は、庭でリサイクル。
- ・ 子ども会の廃品回収を利用。
- ・ 処分するものも再利用できないか考える。
- ・ 枝・落ち葉・紙等は庭で燃やしている。家庭で雑紙や段ボール類は燃やすようにしている。
- ・ 家庭からごみを捨てずに、スーパーやコンビニのゴミ箱に捨てるかも。
- ・ 今はよくわからない。
- ・ 特に変わらない。

他

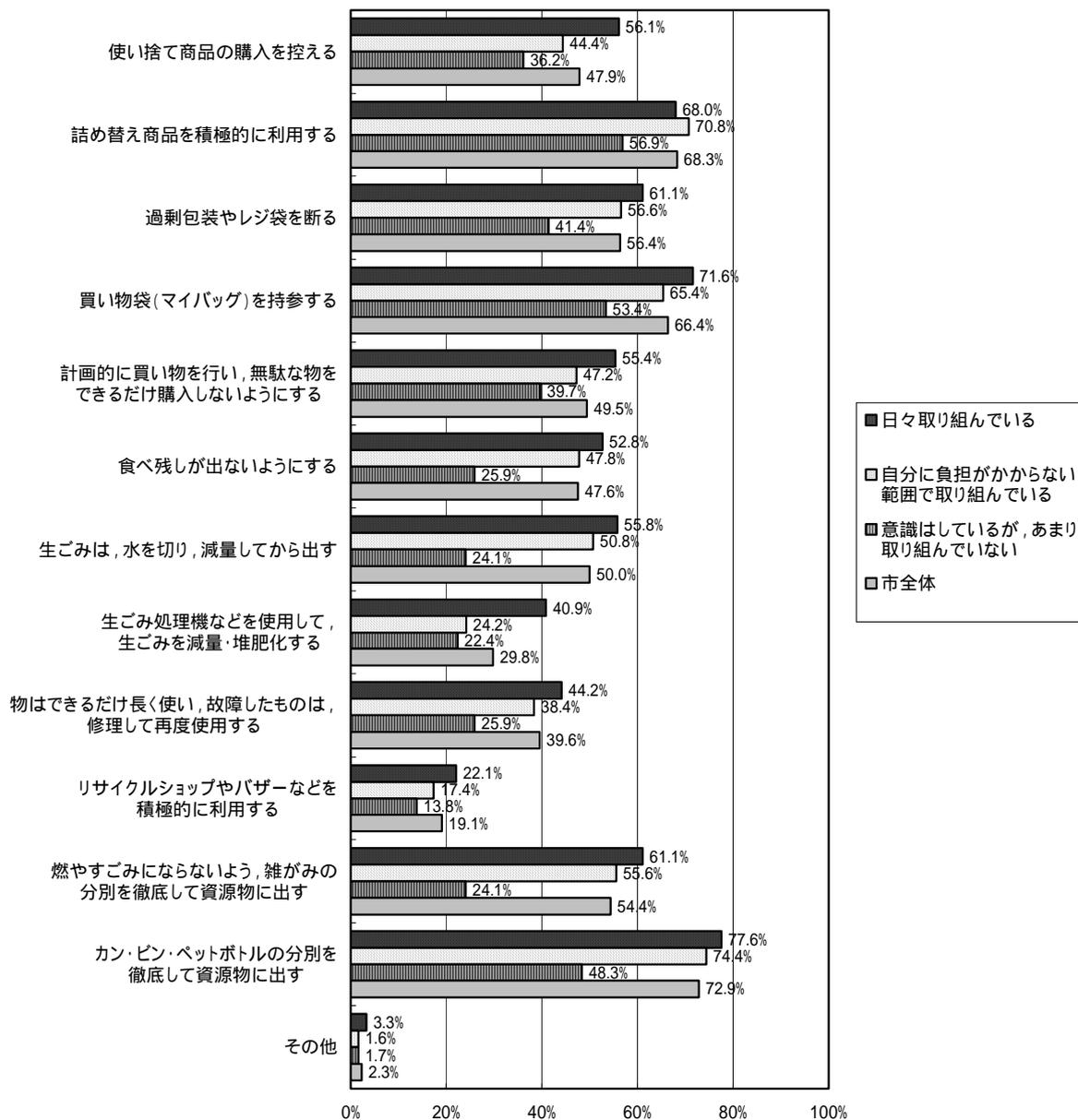
仮に排出量に応じた費用負担の仕組みになった場合の具体的な取り組みとしては、「カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底」、「詰め替え商品の積極的利用」、「買い物袋(マイバッグ)の持参」などの回答が多くなっています。

(1) 日頃の取り組み状況別の集計結果

問4(日頃のごみの減量・リサイクルの取り組み状況)の回答別に、問17(仮に排出量に応じた費用負担の仕組みになった場合の具体的な取り組み)の回答を集計した結果を示します。

選択肢	問4 日頃のごみの減量・リサイクルの取り組み														合計		
	日々取り組んでいる		自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる		意識はしているが、あまり取り組んでいない		取り組んでいない		わからない		無効		無回答				
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	
問17 ごみ排出量に応じた費用負担になった場合の具体的な取り組み	使い捨て商品の購入を控える	170	56.1%	222	44.4%	21	36.2%	3	60.0%	1	20.0%	1	50.0%	5	45.5%	423	47.9%
	詰め替え商品を積極的に利用する	206	68.0%	354	70.8%	33	56.9%	2	40.0%	3	60.0%	1	50.0%	5	45.5%	604	68.3%
	過剰包装やレジ袋を断る	185	61.1%	283	56.6%	24	41.4%	0	-	3	60.0%	2	100.0%	2	18.2%	499	56.4%
	買い物袋(マイバッグ)を持参する	217	71.6%	327	65.4%	31	53.4%	2	40.0%	4	80.0%	2	100.0%	4	36.4%	587	66.4%
	計画的に買い物を行い、無駄な物をできるだけ購入しないようにする	168	55.4%	236	47.2%	23	39.7%	2	40.0%	1	20.0%	1	50.0%	7	63.6%	438	49.5%
	食べ残しが出ないようにする	160	52.8%	239	47.8%	15	25.9%	1	20.0%	3	60.0%	0	-	3	27.3%	421	47.6%
	生ごみは、水を切り、減量してから出す	169	55.8%	254	50.8%	14	24.1%	0	-	2	40.0%	1	50.0%	2	18.2%	442	50.0%
	生ごみ処理機などを使用して、生ごみを減量・堆肥化する	124	40.9%	121	24.2%	13	22.4%	0	-	1	20.0%	1	50.0%	3	27.3%	263	29.8%
	物はできるだけ長く使い、故障したものは、修理して再度使用する	134	44.2%	192	38.4%	15	25.9%	3	60.0%	1	20.0%	1	50.0%	4	36.4%	350	39.6%
	リサイクルショップやバザーなどを積極的に利用する	67	22.1%	87	17.4%	8	13.8%	1	20.0%	2	40.0%	1	50.0%	3	27.3%	169	19.1%
	燃やすごみにならないよう、雑がみの分別を徹底して資源物に出す	185	61.1%	278	55.6%	14	24.1%	0	-	2	40.0%	0	-	2	18.2%	481	54.4%
	カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底して資源物に出す	235	77.6%	372	74.4%	28	48.3%	1	20.0%	2	40.0%	1	50.0%	5	45.5%	644	72.9%
	その他	10	3.3%	8	1.6%	1	1.7%	0	-	0	-	0	-	1	9.1%	20	2.3%
無効	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
無回答	8	2.6%	20	4.0%	1	1.7%	0	-	0	-	0	-	1	9.1%	30	3.4%	
回答数(累計)	2,038		2,993		241		15		25		12		47		5,371		
調査数	303		500		58		5		5		2		11		884		

問4において、日頃からごみの減量やリサイクルに「取り組んでいない」、「わからない」という回答は、両方とも0.6%(5件)と非常に少数のため、「日々取り組んでいる」34.3%(303件)「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」56.5%(500件)「意識はしているが、あまり取り組んでいない」6.6%(58件)に関して、問17を比較します。



ほとんどの取り組みにおいて、日々取り組んでいる人の回答割合が最も高く、あまり取り組んでいない人の回答割合は低くなっています。

日々取り組んでいる人は、他と比べて、特に「使い捨て商品の購入を控える」、「生ごみを減量・堆肥化する」、「雑がみの分別の徹底」の回答割合が高くなっています。

自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる人は、「カン・ビン・ペットボトルの分別の徹底」、「詰め替え商品の積極的利用」等の回答割合が高く、特に「詰め替え商品の積極的利用」については、日々取り組んでいる人よりも高い回答割合となっています。反対に、日々取り組んでいる人よりも回答割合が低く、差が大きいものは、「使い捨て商品の購入を控える」、「生ごみを減量・堆肥化する」です。

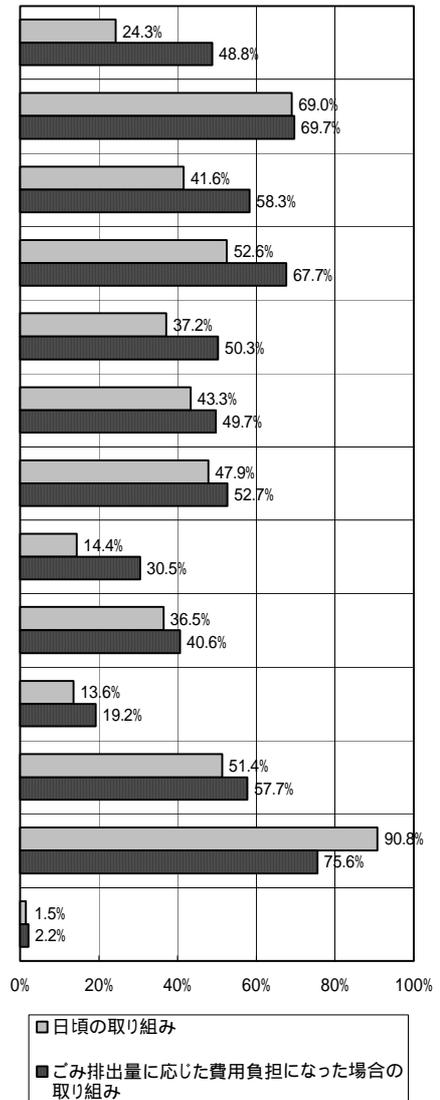
あまり取り組んでいない人については、全体的に回答割合は低いですが、「詰め替え商品

の積極的利用」、「買い物袋（マイバッグ）の持参」、「カン・ビン・ペットボトルの分別の徹底」が多い回答となっています。また、他と比べて特に回答割合が低い取り組みは、「食べ残しが出ないようにする」、「生ごみの水切り」、「雑がみの分別の徹底」、「カン・ビン・ペットボトルの分別の徹底」となっています。

(2) 日頃の取り組みとの比較

問5（日頃の具体的な取り組み）と問17（仮にごみ排出量に応じた費用負担の仕組みになった場合の具体的な取り組み）の結果を比較して、以下に示します。

選択肢	問5 日頃の取り組み		問17 ごみ排出量に応じた費用負担になった場合の取り組み					
	問4 日々取り組んでいる、自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる		問4 日々取り組んでいる		問4 自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる		合計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
使い捨て商品の購入を控える	195	24.3%	170	56.1%	222	44.4%	392	48.8%
詰め替え商品を積極的に利用する	554	69.0%	206	68.0%	354	70.8%	560	69.7%
過剰包装やレジ袋を断る	334	41.6%	185	61.1%	283	56.6%	468	58.3%
買い物袋（マイバッグ）を持参する	422	52.6%	217	71.6%	327	65.4%	544	67.7%
計画的に買い物をを行い、無駄な物をできるだけ購入しないようにする	299	37.2%	168	55.4%	236	47.2%	404	50.3%
食べ残しが出ないようにする	348	43.3%	160	52.8%	239	47.8%	399	49.7%
生ごみは、水を切り、減量してから出す	385	47.9%	169	55.8%	254	50.8%	423	52.7%
生ごみ処理機などを使用して、生ごみを減量・堆肥化する	116	14.4%	124	40.9%	121	24.2%	245	30.5%
物はできるだけ長く使い、故障したものは、修理して再度使用する	293	36.5%	134	44.2%	192	38.4%	326	40.6%
リサイクルショップやバザーなどを積極的に利用する	109	13.6%	67	22.1%	87	17.4%	154	19.2%
燃やすごみにならないよう、雑がみの分別を徹底して資源物に出す	413	51.4%	185	61.1%	278	55.6%	463	57.7%
カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底して資源物に出す	729	90.8%	235	77.6%	372	74.4%	607	75.6%
その他	12	1.5%	10	3.3%	8	1.6%	18	2.2%
無効	0	-	0	-	0	-	0	-
無回答	1	0.1%	8	2.6%	20	4.0%	28	3.5%
回答数(累計)	4,210		2,038		2,993		5,031	
調査数	803		303		500		803	



なお、問5は、問4でごみの減量やりサイクルに「日々取り組んでいる」または「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」を回答した人への設問であるため、ここでも、(1)で集計した「日々取り組んでいる」、「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」を対象としています。

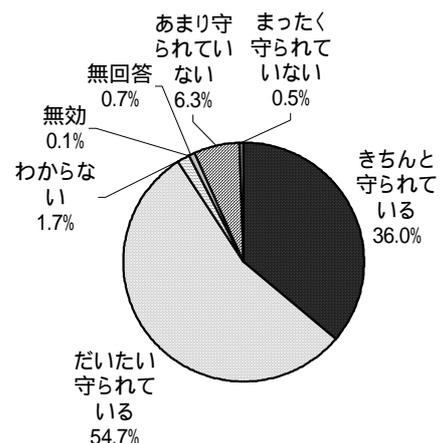
仮にごみ排出量に応じた費用負担になった場合、日頃の取り組みと比べて、ほとんどの取り組みにおいて回答割合が増えています。特に、「使い捨て商品の購入を控える」、「生ごみを減量・堆肥化する」の回答割合は倍以上となっており、その他では、「過剰包装やレジ袋を断る」、「買い物袋(マイバッグ)の持参」、「無駄な物をできるだけ購入しないようにする」、「リサイクルショップやバザーなどを積極的に利用する」についても、増加割合は大きくなっています。

「カン・ビン・ペットボトルの分別の徹底」については、日頃の取り組みが90.8%と高い割合であり、ごみ排出量に応じた費用負担の仕組みになっても、回答割合は増えておらず、反対に減っている結果となっています。

### 3.5 分別排出の徹底について

問18 家庭からごみや資源物を出す際は、分別の方法や日時などのルールが決まっていますが、あなたが利用している集積所やリサイクルステーションではきちんとルールが守られていると思いますか。( は1つ)

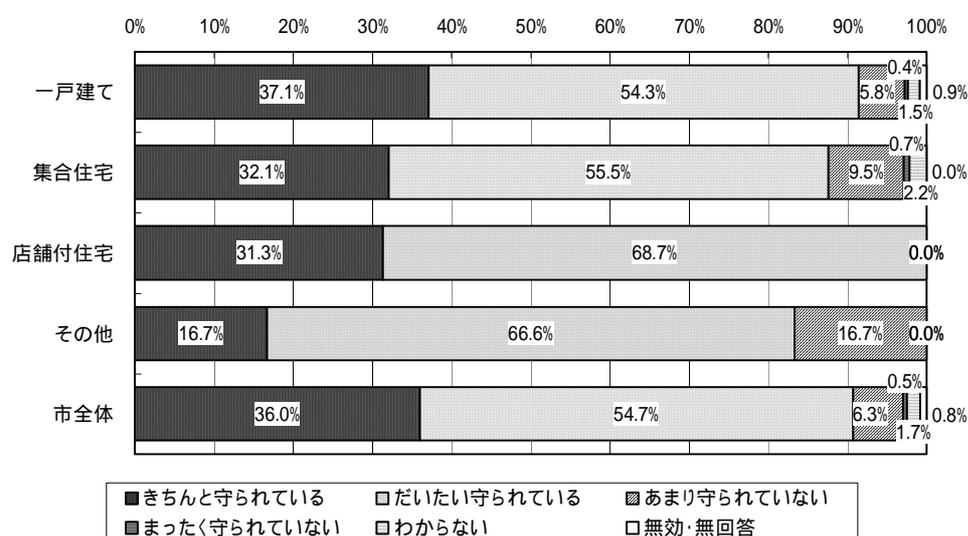
選択肢	実数	割合
きちんと守られている	318	36.0%
だいたい守られている	484	54.7%
あまり守られていない	56	6.3%
まったく守られていない	4	0.5%
わからない	15	1.7%
無効	1	0.1%
無回答	6	0.7%
調査数	884	100.0%



集積所やリサイクルステーションの排出ルールについては、「だいたい守られている」が54.7%、「きちんと守られている」が36.0%となっており、ごみの集積所やリサイクルステーションでは、おおむねルールが守られている状況にあります。

(1) 住居形態別集計結果

選択肢		問18 ごみの分別排出のルール							合計	
		きちんと守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	まったく守られていない	わからない	無効	無回答		
問1 住居形態	一戸建て	実数	267	391	42	3	11	1	6	721
		割合	37.1%	54.3%	5.8%	0.4%	1.5%	0.1%	0.8%	100.0%
	集合住宅	実数	44	76	13	1	3	0	0	137
		割合	32.1%	55.5%	9.5%	0.7%	2.2%	-	-	100.0%
	店舗付住宅	実数	5	11	0	0	0	0	0	16
		割合	31.3%	68.7%	-	-	-	-	-	100.0%
	その他	実数	1	4	1	0	0	0	0	6
		割合	16.7%	66.6%	16.7%	-	-	-	-	100.0%
	無回答	実数	1	2	0	0	1	0	0	4
		割合	25.0%	50.0%	-	-	25.0%	-	-	100.0%
合計		実数	318	484	56	4	15	1	6	884
		割合	36.0%	54.7%	6.3%	0.5%	1.7%	0.1%	0.7%	100.0%



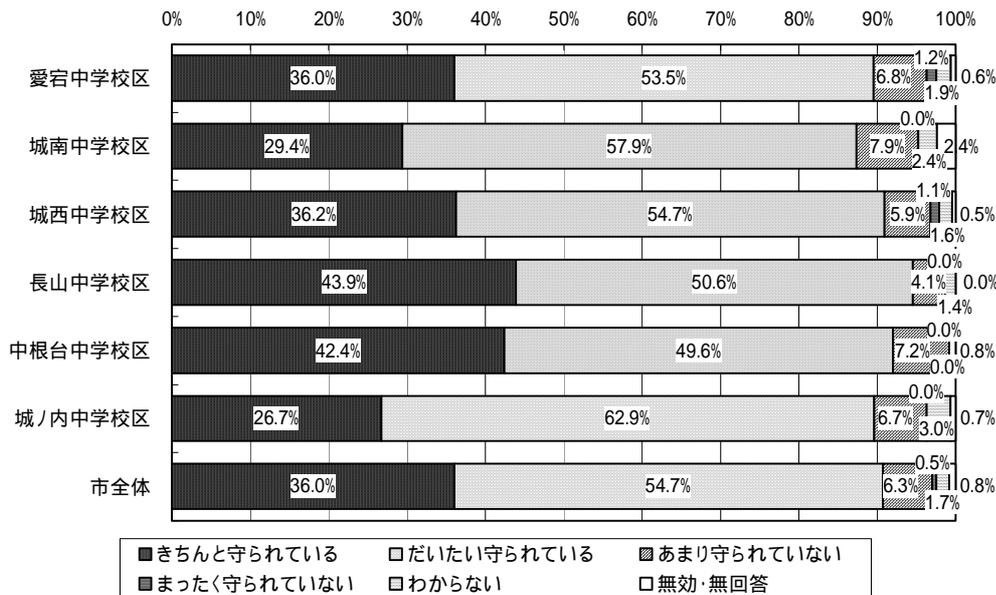
回答者の住居形態は、大半が一戸建て（81.5%）であり、集合住宅は15.5%、店舗付住宅は1.8%と非常に少ないですが、集積所やリサイクルステーションにおける排出ルールについて、住居形態別に見てみると、どの住居においても「だいたい守られている」の回答割合が最も高くなっています。

「きちんと守られている」は、一戸建てが最も高く37.1%、次に集合住宅が32.1%、店舗付住宅が31.3%となっています。

「あまり守られていない」は、集合住宅が9.5%、一戸建てが5.8%となっています。

(2) 地区別集計結果

選択肢		問18 ごみの分別排出のルール							合計	
		きちんと守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	まったく守られていない	わからない	無効	無回答		
問1 住んでいる地区	愛宕中学校区	実数	58	86	11	2	3	0	1	161
		割合	36.0%	53.5%	6.8%	1.2%	1.9%	-	0.6%	100.0%
	城南中学校区	実数	37	73	10	0	3	0	3	126
		割合	29.4%	57.9%	7.9%	-	2.4%	-	2.4%	100.0%
	城西中学校区	実数	67	101	11	2	3	0	1	185
		割合	36.2%	54.7%	5.9%	1.1%	1.6%	-	0.5%	100.0%
	長山中学校区	実数	65	75	6	0	2	0	0	148
		割合	43.9%	50.6%	4.1%	-	1.4%	-	-	100.0%
	中根台中学校区	実数	53	62	9	0	0	1	0	125
		割合	42.4%	49.6%	7.2%	-	-	0.8%	-	100.0%
城ノ内中学校区	実数	36	85	9	0	4	0	1	135	
	割合	26.7%	62.9%	6.7%	-	3.0%	-	0.7%	100.0%	
無効	実数	1	0	0	0	0	0	0	1	
	割合	100.0%	-	-	-	-	-	-	100.0%	
無回答	実数	1	2	0	0	0	0	0	3	
	割合	33.3%	66.7%	-	-	-	-	-	100.0%	
合計	実数	318	484	56	4	15	1	6	884	
	割合	36.0%	54.7%	6.3%	0.5%	1.7%	0.1%	0.7%	100.0%	



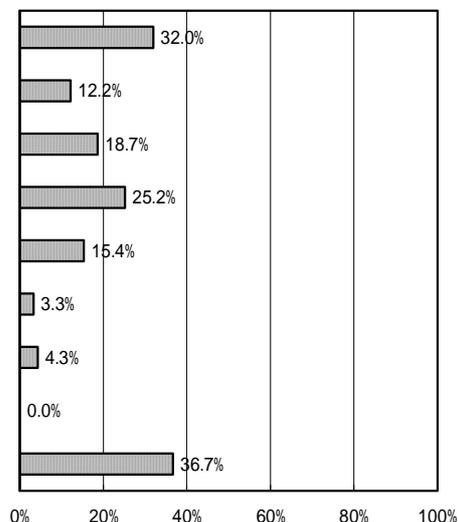
地区別の排出ルールの状況についても、すべての地区において、「だいたい守られている」が50～60%程度で最も多く、「きちんと守られている」と合わせると9割前後となっており、おおむねルールが守られているといえます。

他の地区と比べて「きちんと守られている」の回答割合が高いのは長山中学校区、中根台中学校区であり、反対に、回答割合が低いのは城南中学校区、城ノ内中学校区となっています。

「あまり守られていない」については、城南中学校区、中根台中学校区でやや割合が高く、長山中学校区は低くなっています。

問 1 9 具体的にどのようなルール違反ですか。( はいくつでも )

選択肢	実数	割合
収集日以外や夜間にごみが出されている	283	32.0%
指定袋以外の袋でごみが出されている	108	12.2%
カンやビンが燃やさないごみに混じって出されている	165	18.7%
雑がみやダンボールが燃やすごみに混じって出されている	223	25.2%
違う地区の人が出している	136	15.4%
店舗や事業所が出している	29	3.3%
その他	38	4.3%
無効	0	-
無回答	324	36.7%
回答数(累計)	1,306	
調査数	884	



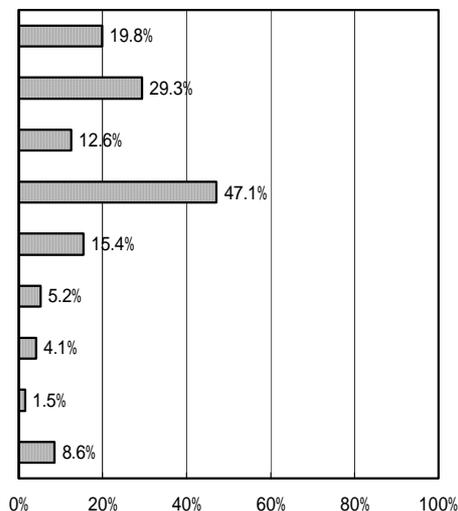
< その他の回答 >

- ・中身を洗わずに出しているビンなどがある。
  - ・ペットボトルの中身が入ったまま出してあったり、ラベルを剥がしてなかったりする。
  - ・色つきペットボトルの混入。
  - ・白トレーに色付が入っている。
  - ・缶などのポイ捨てが多い。
  - ・粗大ゴミが出されており、違反チケットが貼られても放置されている。
  - ・収集日の時間を守らず、そのまま残っている。
  - ・時々袋がやぶれてごみが散らかっている。
  - ・廃品業者が再利用できないものを置いていく。
  - ・収集後の清掃がされていないときがある。
  - ・落ち葉など段ボールに入れて出している。
  - ・缶の中にタバコを入れる。
- 他

ルール違反としては、「収集日以外や夜間のごみ出し」が最も多く、次に「雑がみやダンボールの燃やすごみへの混入」となっています。

問 2 0 ごみ出しのルールを徹底させるためには、どのような対策をとるべきだと思いますか。( は2 つまで)

選択肢	実数	割合
指定袋に名前を書いて出してもらう	175	19.8%
ルール違反のごみは収集せずに、警告シールを貼って放置する	259	29.3%
罰金などの厳しい罰則を課す	111	12.6%
広報紙や回覧などで啓発を徹底する	416	47.1%
地区の当番が指導に当たる	136	15.4%
特別の対策は必要ない	46	5.2%
その他	36	4.1%
無効	13	1.5%
無回答	76	8.6%
回答数(累計)	1,268	
調査数	884	



< その他の回答 >

- ・違反のある集積所を、行政でパトロールして指導する。
- ・地区の区長の協力。班長・区長に指導し、その後で班単位で説明・徹底を図る。
- ・当番の指導では負担が大きいため、地区からの通報により市が指導。
- ・アパートの管理者に対して強く指導。
- ・集積所にルールを守るよう、目立つように書いておく。ごみステーションに定期的にポスターを貼る。
- ・地区の集積所を分別方式にする。
- ・集積所の数を増やして、捨てる人を限定したほうがいい。ふたや扉をつけるなど、気軽にポイ捨てできないようにしてほしい。
- ・外国人の方のために、中国・韓国・英語の啓発本等を発行する。
- ・モラルのない人に何をやっても効果はない。
- ・わからない

他

ごみ出しルールの徹底のため対策としては、「広報紙や回覧などで啓発を徹底する」が最も多く 47.1%、次に「ルール違反のごみは収集せずに、警告シールを貼って放置する」が 29.3%となっています。

## 4. 総括

本アンケート調査では、市民のごみ排出の実態やごみの減量・リサイクルに対する意識等を調査しました。本市内に居住する満20歳以上の市民を対象に、調査票2,000通を郵送して884通の回答をいただき、回収率は44.2%（調査票到着数に対しては44.4%）でした。

質問のテーマごとに、調査結果の傾向を以下に総括としてとりまとめます。

### 4.1 ごみに関する意識・取り組みについて

ごみ問題に対し、9割を超える人が関心を持っており、その内容としては、「使い捨てによる資源の浪費」、「ごみの大量排出による処理のひっ迫」、「不法投棄」、「ごみ処理費用の増加」等となっていました。さらに、自由回答では地球温暖化への影響も挙げられていました。

ごみの減量やリサイクルの取り組みについては、9割を超える人が何らかの取り組みを行っており、ごみの減量やリサイクルの取り組みは広く浸透してきているといえます。取り組んでいない人や、意識はしているがあまり取り組んでいない人の最も多い理由が、減量やリサイクルの方法がわからないという回答であることから、その方法を啓発していくことで、より取り組みが広まると考えられます。また、現在は自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる人が、さらなる取り組みを行っていくような啓発も必要であると考えられます。ごみの減量化・リサイクルの方法などの情報の提供方法としては、市広報紙等の戸別に配布・回覧される方法が望まれています。

### 4.2 ごみの分別収集・排出について

現在のごみや資源物の収集回数、資源物の収集品目については、いずれも「ちょうど良い」と考える人が大半を占めています。

収集回数が「多すぎる」や「少ない」といった意見は少数ですが、燃やすごみと燃やさないごみについては、「多すぎる」が「少ない」という意見を上回っており、資源物（ステーション回収）については、「多すぎる」よりも「少ない」という意見のほうが多くなっていました。

また、資源物について、現在の収集品目では少ないと考えている人（7.5%）については、プラスチック製容器包装の分別収集は、日常的に取り組むことができるという意見が最も多い結果となりました。

### 4.3 ごみの減量・リサイクルの推進について

家庭ごみの減量・リサイクルを進めるうえで力を入れるべきと思うことについて多かった意見は、事業者による努力（事業者が過剰包装やレジ袋を削減、ごみになりにくい商品の開発、買い替え時に不要品を回収）を求めるものと、情報提供の充実、啓発活動の充実

でした。

#### 4.4 排出量に応じたごみ処理費用の負担について

ごみ処理費用の負担については、「一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき」が41.7%で最も多く、「すべてごみを出す量に応じて負担すべき」9.0%と合わせると、約半数の人が排出量に応じた費用負担にすべきという考えであることがわかりました。反対に、「すべて税金でまかなうべき」という考えは27.2%でした。

自由回答では、排出量に応じた費用負担に理解を示すものの、不法投棄が増えることを懸念する意見が多く寄せられました。

#### 4.5 分別排出の徹底について

ごみや資源物の排出ルールについては、おおむね守られている状況にありますが、ルールを徹底させるための対策として、広報紙や回覧などでの啓発を徹底するという意見が最も多い結果となりました。この他には、ルール違反のごみは収集せずに警告シールを貼って放置する、指定袋を記名式にするなどの対策が多い結果となりました。



## 第 II 編 事業者意識調査結果



## 1. 調査概要

### 1.1 調査目的

ごみ処理基本計画の策定にあたり、事業者のごみ排出やリサイクルに関する意識および取り組みの実態、将来に向けた協力意識等を把握して、今後の施策検討の参考とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

### 1.2 調査対象

- (1) 調査地域 龍ヶ崎市
- (2) 対象者 龍ヶ崎市内に住所を有する事業所
- (3) 標本数 200 件
- (4) 抽出方法 事業所リストから無作為抽出

### 1.3 調査方法

質問用紙郵送法

### 1.4 調査年月

平成 19 年 12 月

### 1.5 調査票の回収状況

- (1) 調査票発送数 200 通 (うち 2 通が宛先不明のため返送)
- (2) 回収数 109 通
- (3) 回収率 54.5% (調査票到着数に対しては 55.1%)

## 1.6 調査結果の見方

### (1) 回答割合について

- ・質問ごとに各項目の回答者実数を調査数（＝回答者総数）で除し、百分率（パーセント）で表示しています。
- ・回答割合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。
- ・単数回答（選択肢から1つだけ回答する場合）は、回答割合の合計が100%になるよう調整してあります。
- ・複数回答（選択肢から2つ以上選択してよい場合）は、回答割合の合計は100%を上回るようになります。

### (2) 選択肢の用語解説

- ・無効：単数回答の質問に複数回答している場合や3つ以内を選択する質問に4つ以上回答している場合
- ・無回答：回答が記入されていない場合

### (3) 業種の内容

業 種	内 容
事務所 （オフィスビル）	業務内容が事務、営業等のデスクワーク中心である事務所、本支社・支店、営業所、複数の事務系の会社が入居しているビルも含む
飲食店	ファミリーレストラン、ファーストフード店、食堂、喫茶店、酒場など
卸売・小売店	卸売業、食品、酒類、家具、家電、薬品等販売店、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなど
食料品製造業	食料品の製造、加工を行う工場、施設など
その他の製造業	食料品製造以外の製造、加工を行う工場、施設など
ホテル・結婚式場等	宿泊施設を持つもの、式場施設を持つもの、あるいは両方兼ね備える施設
倉庫、流通センター	商品等の集積、保管、集配等を行っている施設
医療業	病院、診療所、歯科診療所など
その他	雑居ビル（事務所、飲食店等が同居しているビル）、劇場・映画館、文化施設、体育施設、公民館、学校・塾など

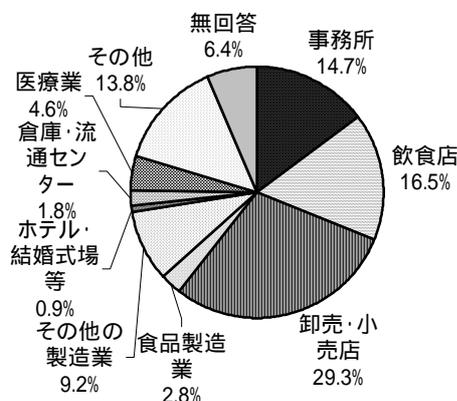
## 2. 回答事業所の概要

今回のアンケート調査に回答をいただいた事業所の基礎的事項は以下のとおりです。

### 問1 基礎項目

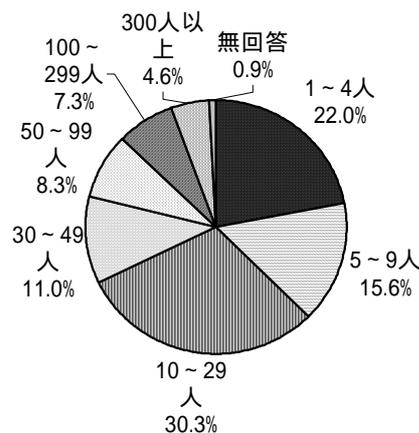
#### (1) 業種

選択肢	実数	割合
事務所	16	14.7%
飲食店	18	16.5%
卸売・小売店	32	29.3%
食品製造業	3	2.8%
その他の製造業	10	9.2%
ホテル・結婚式場等	1	0.9%
倉庫・流通センター	2	1.8%
医療業	5	4.6%
その他	15	13.8%
無効	0	-
無回答	7	6.4%
調査数	109	100.0%



#### (2) 従業員数

選択肢	実数	割合
1～4人	24	22.0%
5～9人	17	15.6%
10～29人	33	30.3%
30～49人	12	11.0%
50～99人	9	8.3%
100～299人	8	7.3%
300人以上	5	4.6%
無効	0	-
無回答	1	0.9%
調査数	109	100.0%

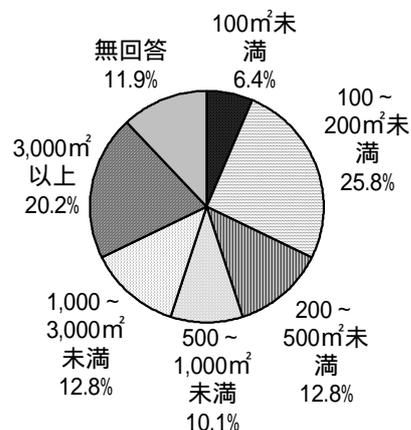


平成19年11月1日現在

(経営者、パート、アルバイト等を含む)

#### (3) 延べ床面積

選択肢	実数	割合
100㎡未満	7	6.4%
100～200㎡未満	28	25.8%
200～500㎡未満	14	12.8%
500～1,000㎡未満	11	10.1%
1,000～3,000㎡未満	14	12.8%
3,000㎡以上	22	20.2%
無効	0	-
無回答	13	11.9%
調査数	109	100.0%

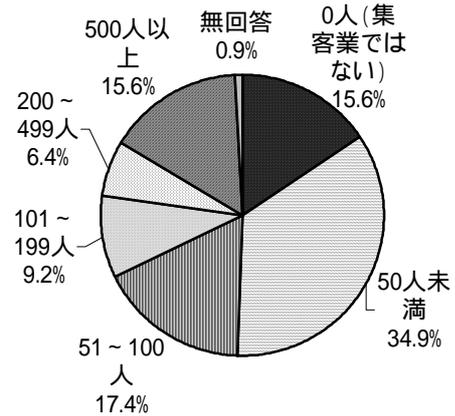


テナントとして入居している場合は、事業所のみ延べ床面積。

(4) 日平均客数

選択肢	実数	割合
0人(集客業ではない)	17	15.6%
50人未満	38	34.9%
51～100人	19	17.4%
101～199人	10	9.2%
200～499人	7	6.4%
500人以上	17	15.6%
無効	0	-
無回答	1	0.9%
調査数	109	100.0%

学校は生徒数、病院・診療所は入院・通院患者数

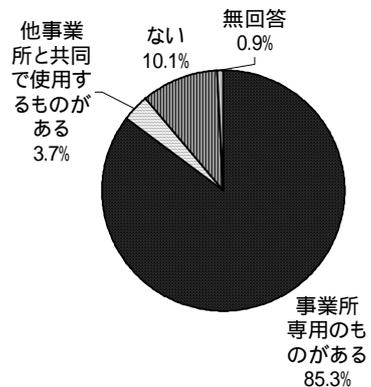


3. 調査結果

3.1 ごみの排出・リサイクルについて

問2 貴事業所に、ごみや資源物の保管場所・集積場はありますか。( は1つ)

選択肢	実数	割合
事業所専用のものがある	93	85.3%
他事業所と共同で使用しているものがある	4	3.7%
ない	11	10.1%
無効	0	-
無回答	1	0.9%
調査数	109	100.0%

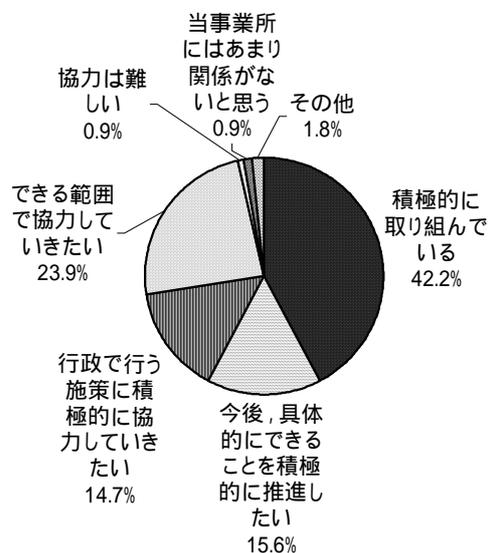


ごみや資源物の保管場所・集積所は、85.3%の事業所が「事業所専用のもの」を有しており、「他事業所と共同で使用」している事業所は3.7%となっています。反対に、ごみや資源物の保管場所・集積所が「ない」事業所は10.1%です。

問3 貴事業所におけるごみの減量やリサイクルへの取り組みについてお答えください。

( は1つ)

選択肢	実数	割合
重要な問題なので、積極的に取り組んでいる	46	42.2%
重要な問題なので、今後、具体的にできることを積極的に推進したい	17	15.6%
重要性は理解できるので、行政で行う施策に積極的に協力していきたい	16	14.7%
重要性は理解できるので、できる範囲で協力していきたい	26	23.9%
重要性は理解できるが、スペース・コスト等の問題から、協力は難しい	1	0.9%
当事業所にはあまり関係がないと思う	1	0.9%
その他	2	1.8%
無効	0	-
無回答	0	-
調査数	109	100.0%



< その他の回答 >

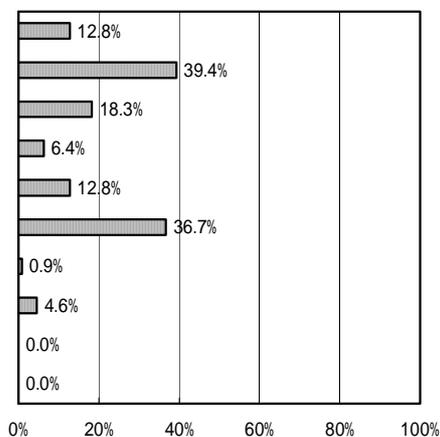
- ・ 関係ない。
- ・ 業者にお願いしてある。

ごみの減量やリサイクルへの取り組みは、「重要な問題なので、積極的に取り組んでいる」が最も多く、42.2%です。次に、「重要性は理解できるので、できる範囲で協力していきたい」が23.9%、「重要な問題なので、今後、具体的にできることを積極的に推進していきたい」が15.6%、「重要性は理解できるので、行政で行う施策に積極的に協力していきたい」が14.7%となっています。

大半の事業所が、ごみの減量やリサイクルの重要性を理解し、具体的な取り組みや協力を実施または今後推進したいと考えています。

問4 貴事業所で、ごみの減量やリサイクルを行う場合の問題点は何ですか。( は3つまで)

選択肢	実数	割合
適当な資源回収業者が見あたらない	14	12.8%
他のごみと分けるのに手間がかかる	43	39.4%
保管等のためのスペースがとれない	20	18.3%
衛生上問題がある	7	6.4%
経済的なメリットが少ない	14	12.8%
特に問題はない	40	36.7%
わからない	1	0.9%
その他	5	4.6%
無効	0	-
無回答	0	-
回答数(累計)	144	
調査数	109	



< その他の回答 >

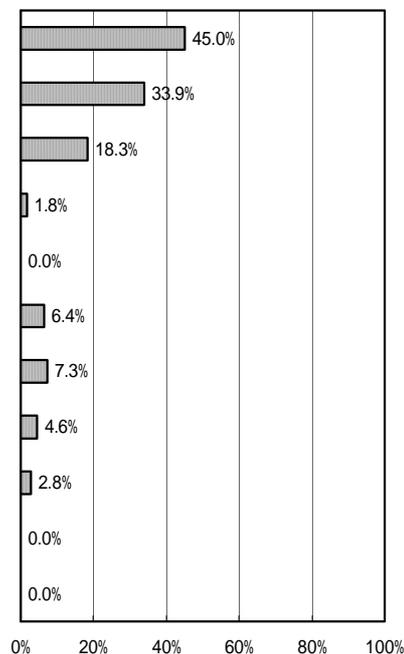
- ・ 個人情報取扱の点。
- ・ 個人情報を取り扱う機会が多く、当事業所単体で解決できない事項がある。
- ・ 資源回収業者が来ている。
- ・ リサイクルについて市に相談に行ったが、「民間だからお金をかけて勝手にやれ」と簡単に言われた。
- ・ 回収している業者が仕分けしているのか。

ごみの減量やリサイクルを行う場合の問題点としては、「他のごみと分けるのに手間がかかる」が39.4%で最も多く、次に「特に問題はない」が36.7%となっています。

分別の手間や保管スペース、衛生上も問題といった課題はありますが、約1/3の事業者は特に問題はないと考えています。

問5 貴事業所でのリサイクル品の使用状況についてお答えください。( はいいくつでも )

選択肢	実数	割合
できるかぎりリサイクル品を使用するようにしている	49	45.0%
OA用紙はリサイクル用紙を使用しているが、その他は特に使用していない	37	33.9%
従業員それぞれにまかせており、事業所でリサイクル品使用の指示はしていない	20	18.3%
リサイクル品は価格が高いため、できれば使用したくない	2	1.8%
リサイクル品は品質に問題があるため、できれば使用したくない	0	-
業務特性を考慮すると、リサイクル品を使用することは困難である	7	6.4%
業務特性を考慮すると、リサイクル品を使用する必要性がない	8	7.3%
わからない	5	4.6%
その他	3	2.8%
無効	0	-
無回答	0	-
回答数(累計)	131	
調査数	109	



< その他の回答 >

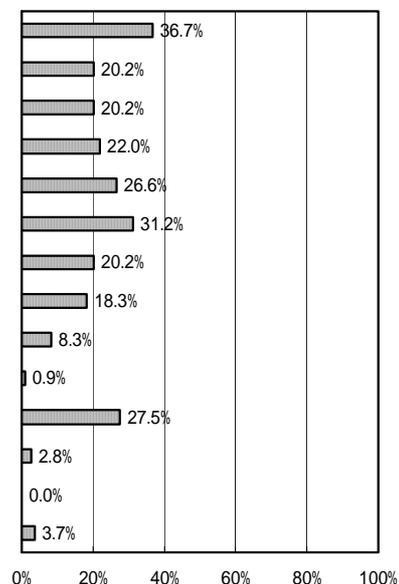
- ・リサイクルを推進している。
- ・トイレットペーパー
- ・リサイクル品の販売をしているが、消費ニーズが低い。

事業所におけるリサイクル品の使用状況は、「できるかぎりリサイクル品を使用するようにしている」が45.0%で最も多く、次いで「OA用紙はリサイクル用紙を使用しているが、その他は特に使用していない」(33.9%)、「従業員それぞれにまかせており、事業所でリサイクル品使用の指示はしていない」(18.3%)となっています。

反対に、「リサイクル品を使用したくない」という回答は、1.8%とわずかです。

問6 現在,ごみとして排出しているもののうち,今後,新たに分別してリサイクルでき  
 と思う品目はありますか。( はいくつでも)

選択肢	実数	割合
ダンボール	40	36.7%
OA用紙	22	20.2%
その他の古紙類	22	20.2%
びん類	24	22.0%
缶類	29	26.6%
ペットボトル	34	31.2%
プラスチック類	22	20.2%
生ごみ	20	18.3%
木・枝類	9	8.3%
コスト,保管スペース等の問題から,新たに分別はできない	1	0.9%
すでに分別してリサイクルしている	30	27.5%
その他	3	2.8%
無効	0	-
無回答	4	3.7%
回答数(累計)	260	
調査数	109	



< その他の回答 >

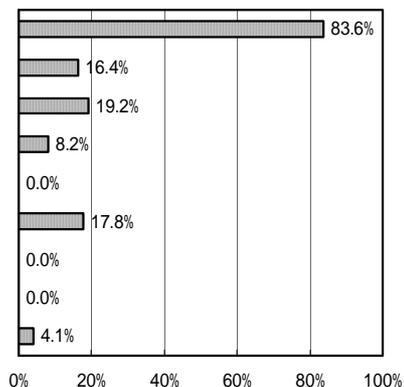
- ・生ごみもリサイクル先があれば検討したい。
- ・全然興味なし。
- ・回収している業者がしていると思う。

今後、新たに分別してリサイクルできると思う品目は、「ダンボール」36.7%、「ペット  
 ボトル」31.2%、「缶類」26.6%、「びん類」22.0%、「OA用紙」、「その他の古紙類」、「プ  
 ラスチック類」20.2%の順となっています。

また、27.5%の事業所において、資源物は「すでに分別してリサイクル」されています。

問7 問6において、「1～9」に をつけた方にお伺いします。新たに分別する場合、貴事業所では、具体的にどのような取り組みができると思いますか。（はいくつでも）

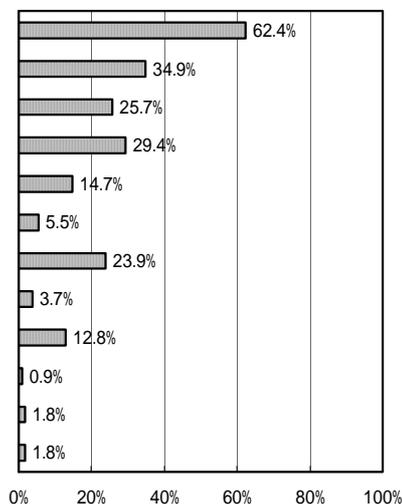
選択肢	実数	割合
資源品として資源回収業者に引き渡す	61	83.6%
納入業者、製造メーカーに返却する	12	16.4%
生ごみを堆肥化、飼料化するなどして利用する	14	19.2%
木・枝類をチップ化、堆肥化するなどして利用する	6	8.2%
自社内で再生原料等に再生利用する	0	-
再生原料として購入してくれる業者に売却する	13	17.8%
その他	0	-
無効	0	-
無回答	3	4.1%
回答数(累計)	109	
調査数	73	



新たに分別してリサイクルできると思う品目について、今後、分別する場合の具体的な取り組みとしては、「資源品として資源回収業者に引き渡す」が83.6%となっています。

問 8 事業系ごみのリサイクルを推進するためには何が必要だと考えますか。( は 3 つ まで )

選択肢	実数	割合
行政による資源回収システムの整備	68	62.4%
事業者の意識改革と実践	38	34.9%
リサイクル実施への補助制度の創設	28	25.7%
製造メーカーによる資源物引き取りの徹底	32	29.4%
行政からのリサイクルに関する情報提供・啓発活動の充実	16	14.7%
事業者間での情報交換, 情報の共有化の推進	6	5.5%
事業者がリサイクルしやすい製品を開発	26	23.9%
事業者によるリサイクル費用負担の拡大	4	3.7%
法律の制定など, 国・県に対する働きかけ	14	12.8%
その他	1	0.9%
無効	2	1.8%
無回答	2	1.8%
回答数(累計)	237	
調査数	109	



< その他の回答 >

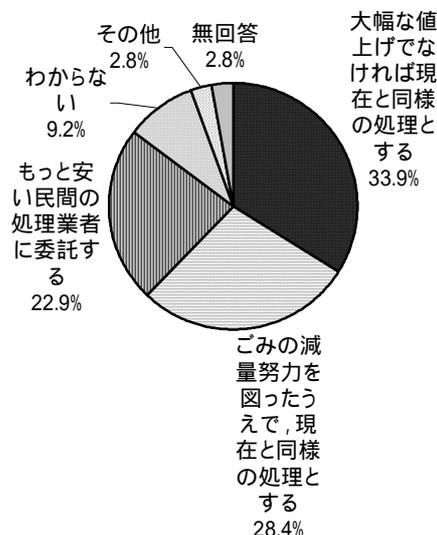
- ・一人一人の気持ちの持ち方。

事業系ごみのリサイクルを推進するために必要であると考え、行政による資源回収システムの整備が最も多く 62.4%となっています。続いて、「事業者の意識改革と実践」が 34.9%、「製造メーカーによる資源物引き取りの徹底」が 29.4%、「リサイクル実施への補助制度の創設」25.7%、「事業者がリサイクルしやすい製品を開発」が 23.9%となっています。

事業者自身による対応よりも、行政による対応や支援を求める回答のほうが多い結果となっています。

問9 今後、クリーンプラザ・龍へのごみの搬入料金または許可収集業者・処理業者への委託料金が上がった場合、ごみ処理はどうしますか。( は1つ)

選択肢	実数	割合
大幅な値上げでなければ現在と同様の処理とする	37	33.9%
ごみの減量努力を図ったうえで、現在と同様の処理とする	31	28.4%
もっと安い民間の処理業者に委託する	25	22.9%
わからない	10	9.2%
その他	3	2.8%
無効	0	-
無回答	3	2.8%
調査数	109	100.0%



クリーンプラザ・龍：龍ケ崎市等のごみを処理している龍ケ崎地方塵芥処理組合のごみ処理施設

< その他の回答 >

- ・学校のごみは、市で処理してもらえないので、民間業者に委託している。市に委託できれば、安い処理料ですむのではないかと考える。
- ・一般ごみで出したいけど、仕方ない。
- ・家庭ごみとして出している事業所があるのに、どうしてきちんと出している事業所に値上げの質問をするのか。

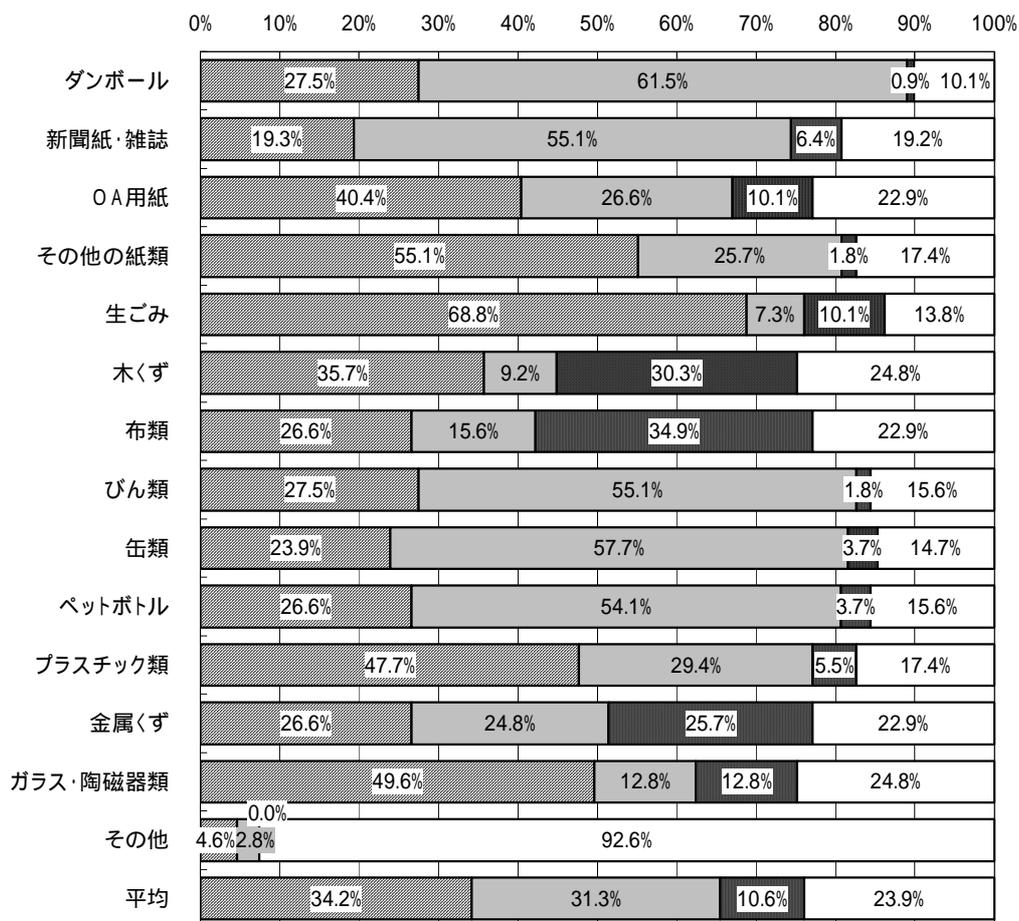
ごみの搬入料金や委託料金が値上がりした場合、「大幅な値上げでなければ現在と同様の処理とする」が 33.9%で最も多く、次に、「ごみの減量努力を図ったうえで、現在と同様の処理とする」が 28.4%となっており、両者を合わせると、6割を超える事業者が現在と同様の処理を選んでいきます。

また、「もっと安い民間の処理業者に委託する」は 22.9%となっています。

### 3.2 ごみ・資源物の排出状況

問10 貴事業所から排出されるごみ・資源物について、分別状況、主な排出方法および排出頻度をごみの種類別に記入してください。

#### (1) 分別状況



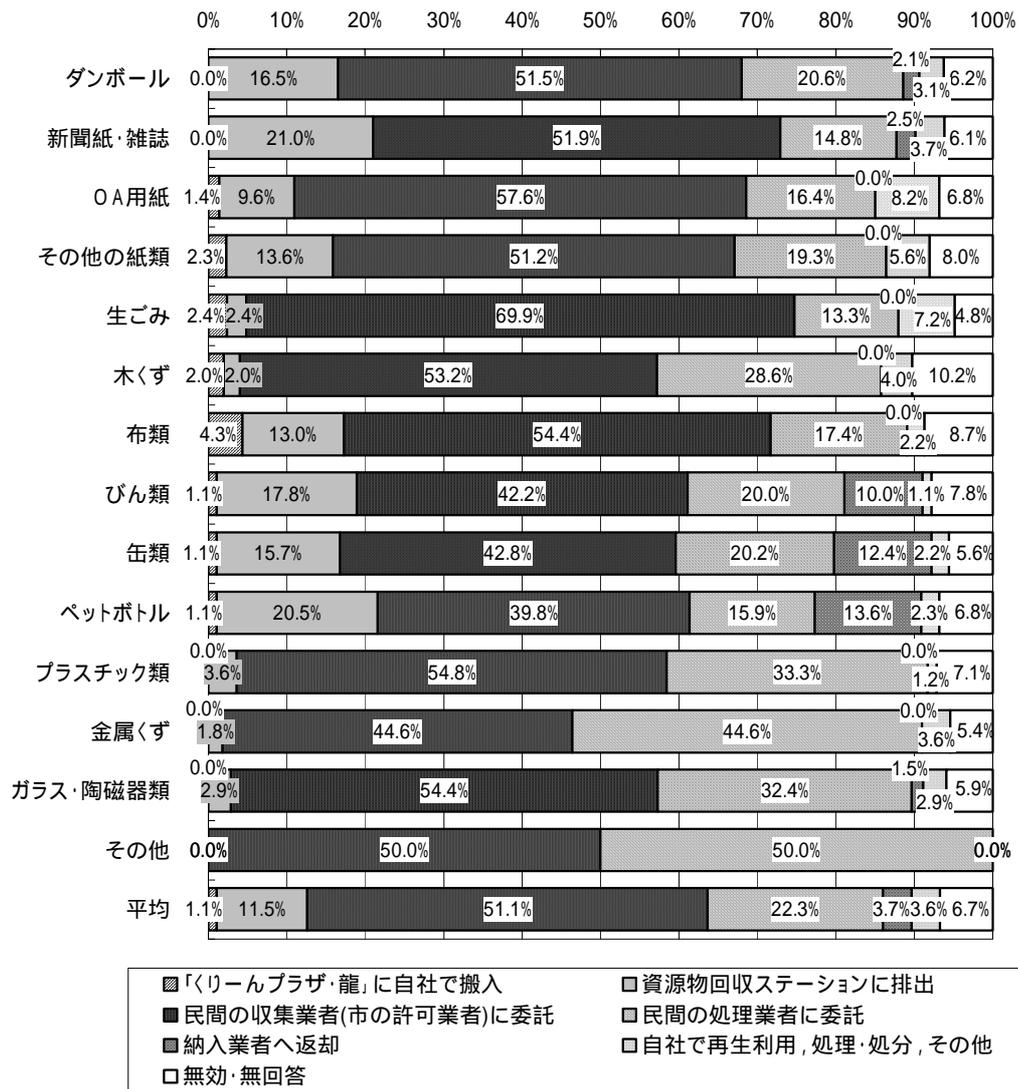
■ごみとして排出 □資源物として分別して排出 ■ごみそのものが出ない □無効・無回答

ごみとして排出されている割合が多い品目は、OA用紙、その他の紙類、生ごみ、木くず、プラスチック類、ガラス・陶磁器類です。

資源物として排出されている割合が多い品目は、ダンボール、新聞紙・雑誌、びん類、缶類、ペットボトルです。

木くず、布類、金属くず等は、ごみそのものが出ないという回答割合も多くなっています。

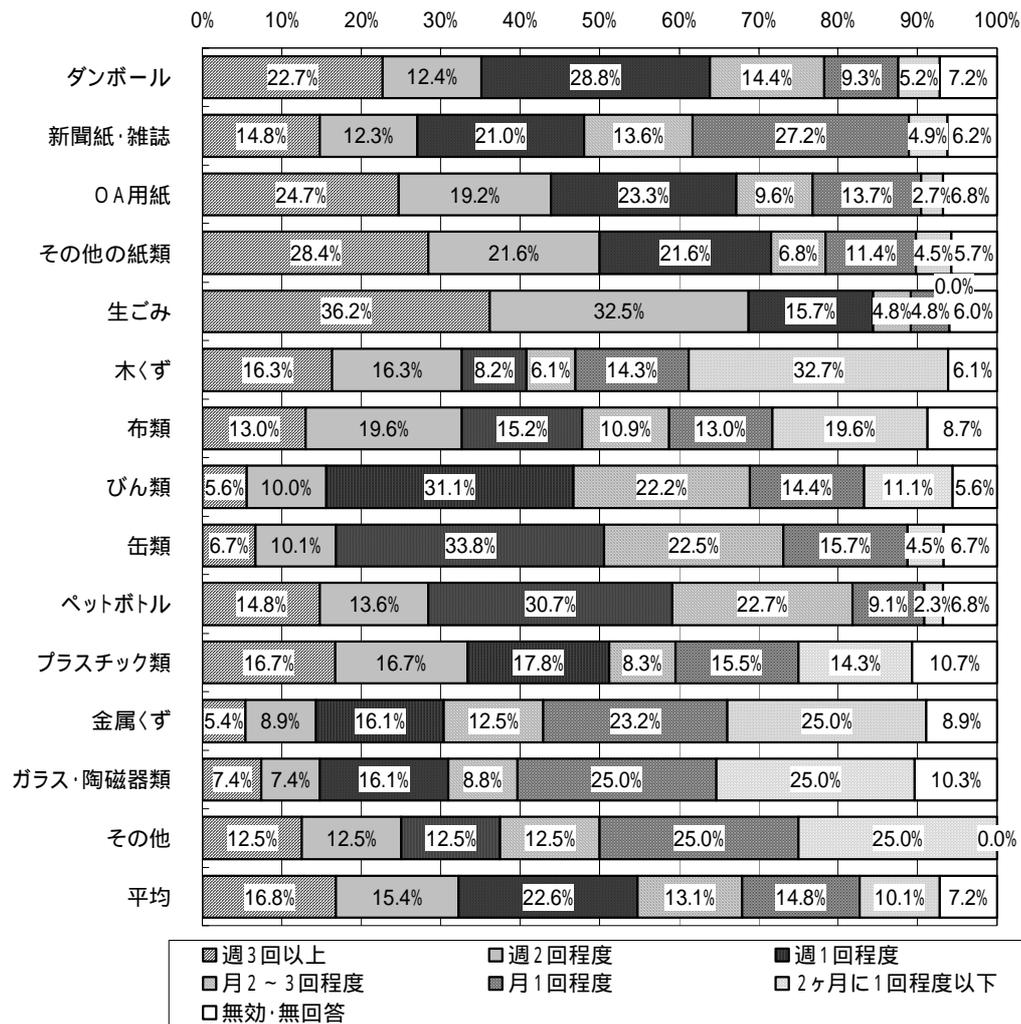
(2) 主な排出方法



(1) 分別状況で「ごみとして排出」または「資源物として分別排出」されているものの主な排出方法は、ほぼ全ての品目で「民間の収集業者(市の許可業者)に委託」が最も多く、次に「民間の処理業者に委託」または「資源物回収ステーションに排出」となっています。

また、びん類、缶類、ペットボトルは、「納入業者へ返却」が10%程度と、他の品目に比べて高い割合となっています。

(3) 排出頻度



(1) 分別状況で「ごみとして排出」または「資源物として分別排出」されているものの排出頻度は、生ごみ、紙類（ダンボール、新聞紙・雑誌、OA用紙、その他の紙類）、びん類、缶類、ペットボトル等については、排出頻度が多く、週1回以上排出している事業所が多いことがわかります。特に、生ごみと紙類は、週に2回または3回以上排出している事業所の割合も多くなっています。

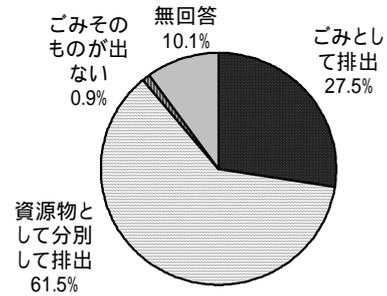
反対に、排出頻度が少ない品目は、木くず、金属くず、ガラス・陶磁器類等です。

(4) 品目別排出状況

1) ダンボール

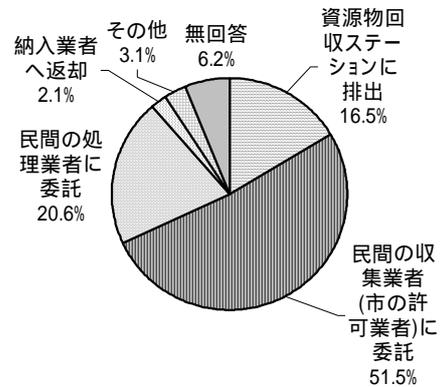
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	30	27.5%
資源物として分別して排出	67	61.5%
ごみそのものが出ない	1	0.9%
無効	0	-
無回答	11	10.1%
調査数	109	100.0%



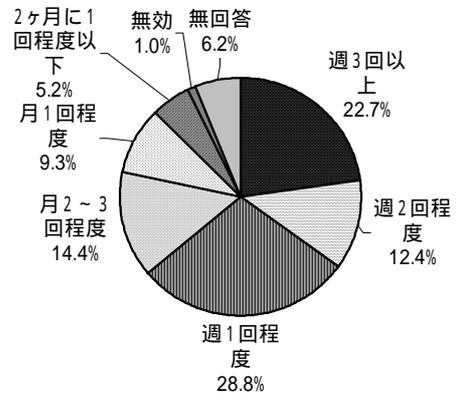
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	0	-
資源物回収ステーションに排出	16	16.5%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	50	51.5%
民間の処理業者に委託	20	20.6%
納入業者へ返却	2	2.1%
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	3	3.1%
無効	0	-
無回答	6	6.2%
調査数	97	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	22	22.7%
週2回程度	12	12.4%
週1回程度	28	28.8%
月2~3回程度	14	14.4%
月1回程度	9	9.3%
2ヶ月に1回程度以下	5	5.2%
無効	1	1.0%
無回答	6	6.2%
調査数	97	100.0%



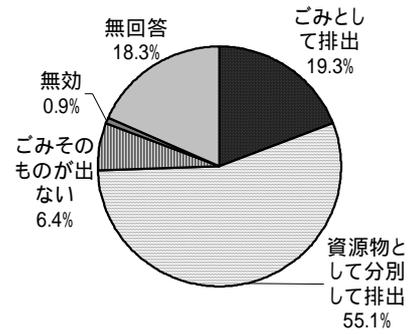
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・子ども会資源回収
- ・製紙原料問屋に売却
- ・民間

2) 新聞紙・雑誌

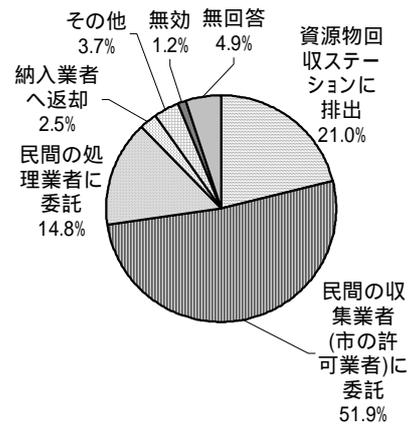
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	21	19.3%
資源物として分別して排出	60	55.1%
ごみそのものが出ない	7	6.4%
無効	1	0.9%
無回答	20	18.3%
調査数	109	100.0%



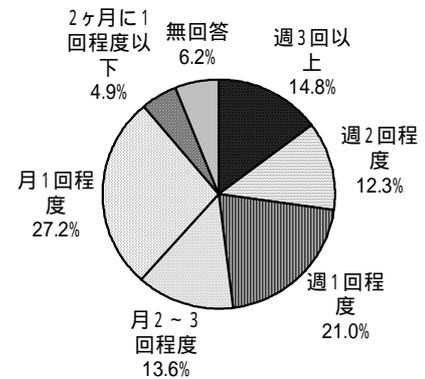
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	0	-
資源物回収ステーションに排出	17	21.0%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	42	51.9%
民間の処理業者に委託	12	14.8%
納入業者へ返却	2	2.5%
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	3	3.7%
無効	1	1.2%
無回答	4	4.9%
調査数	81	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	12	14.8%
週2回程度	10	12.3%
週1回程度	17	21.0%
月2~3回程度	11	13.6%
月1回程度	22	27.2%
2ヶ月に1回程度以下	4	4.9%
無効	0	-
無回答	5	6.2%
調査数	81	100.0%



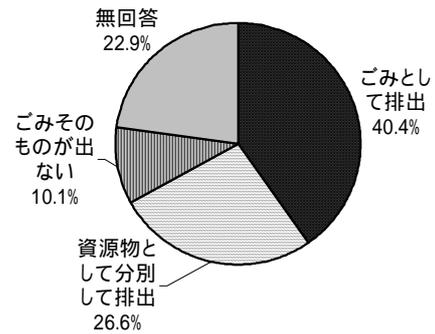
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・子ども会資源回収
- ・製紙原料問屋に売却
- ・民間

### 3) OA用紙

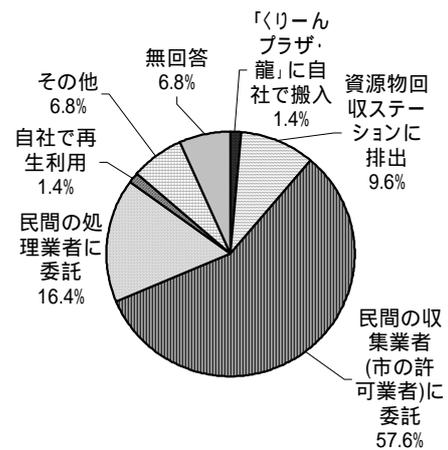
#### 分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	44	40.4%
資源物として分別して排出	29	26.6%
ごみそのものが出ない	11	10.1%
無効	0	-
無回答	25	22.9%
調査数	109	100.0%



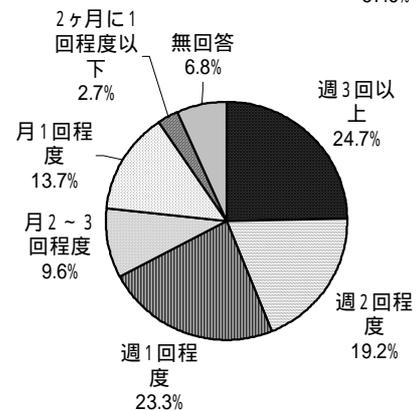
#### 主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	1	1.4%
資源物回収ステーションに排出	7	9.6%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	42	57.6%
民間の処理業者に委託	12	16.4%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	1	1.4%
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	5	6.8%
無効	0	-
無回答	5	6.8%
調査数	73	100.0%



#### 排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	18	24.7%
週2回程度	14	19.2%
週1回程度	17	23.3%
月2~3回程度	7	9.6%
月1回程度	10	13.7%
2ヶ月に1回程度以下	2	2.7%
無効	0	-
無回答	5	6.8%
調査数	73	100.0%



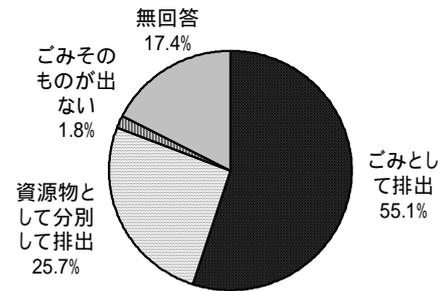
#### < 主な排出方法のその他の回答 >

- ・子ども会資源回収
- ・市の収集場所
- ・製紙原料問屋に売却
- ・民間
- ・焼却

#### 4) その他の紙類

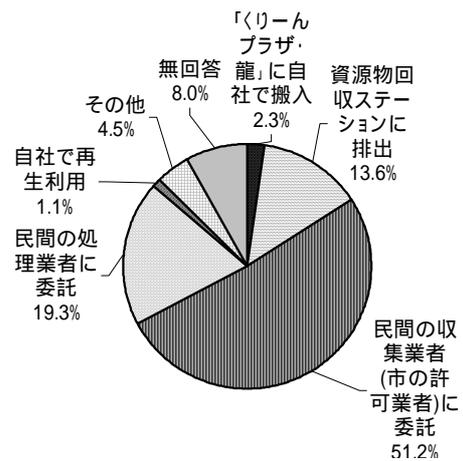
##### 分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	60	55.1%
資源物として分別して排出	28	25.7%
ごみそのものが出ない	2	1.8%
無効	0	-
無回答	19	17.4%
調査数	109	100.0%



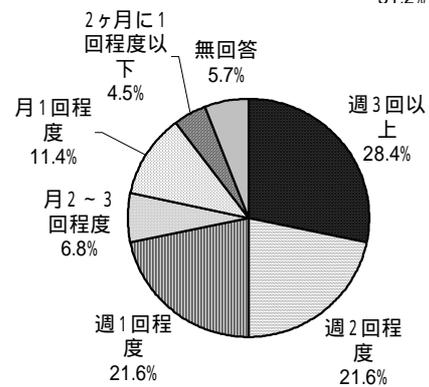
##### 主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	2	2.3%
資源物回収ステーションに排出	12	13.6%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	45	51.2%
民間の処理業者に委託	17	19.3%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	1	1.1%
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	4	4.5%
無効	0	-
無回答	7	8.0%
調査数	88	100.0%



##### 排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	25	28.4%
週2回程度	19	21.6%
週1回程度	19	21.6%
月2~3回程度	6	6.8%
月1回程度	10	11.4%
2ヶ月に1回程度以下	4	4.5%
無効	0	-
無回答	5	5.7%
調査数	88	100.0%



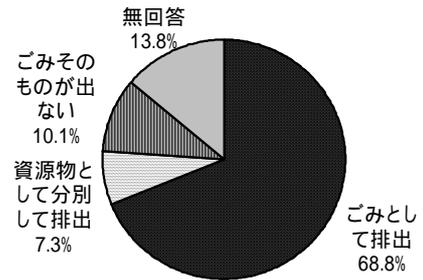
#### < 主な排出方法のその他の回答 >

- ・市の収集場所
- ・製紙原料問屋に売却
- ・民間
- ・焼却

## 5) 生ごみ

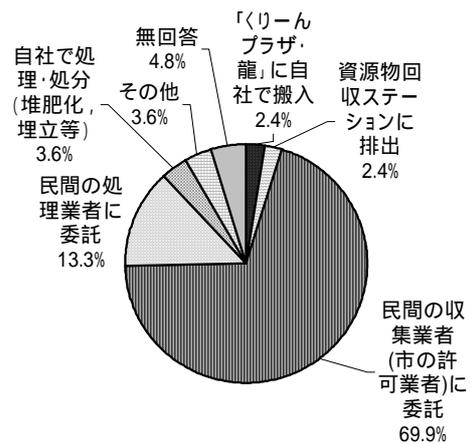
### 分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	75	68.8%
資源物として分別して排出	8	7.3%
ごみそのものが出ない	11	10.1%
無効	0	-
無回答	15	13.8%
調査数	109	100.0%



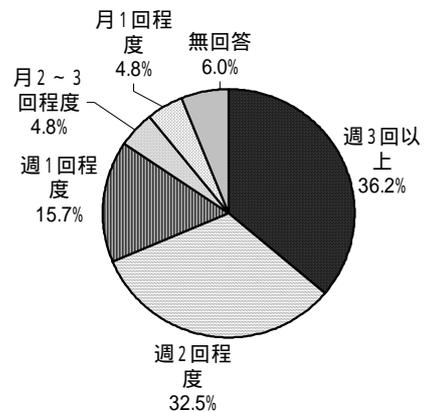
### 主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	2	2.4%
資源物回収ステーションに排出	2	2.4%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	58	69.9%
民間の処理業者に委託	11	13.3%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	3	3.6%
その他	3	3.6%
無効	0	-
無回答	4	4.8%
調査数	83	100.0%



### 排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	30	36.2%
週2回程度	27	32.5%
週1回程度	13	15.7%
月2~3回程度	4	4.8%
月1回程度	4	4.8%
2ヶ月に1回程度以下	0	-
無効	0	-
無回答	5	6.0%
調査数	83	100.0%



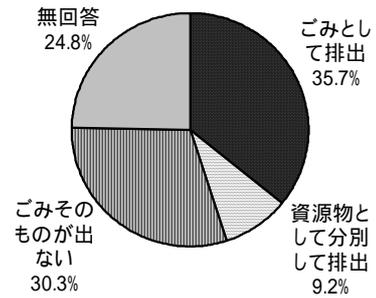
### < 主な排出方法のその他の回答 >

- ・ 市の収集場所
- ・ 民間

6) 木くず

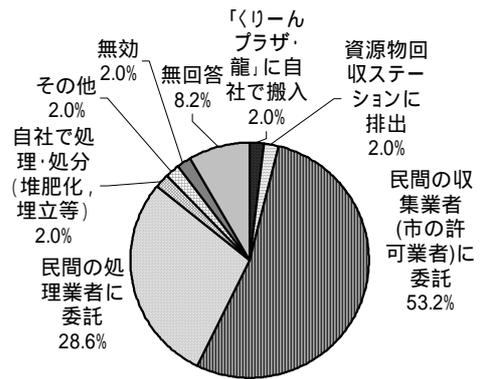
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	39	35.7%
資源物として分別して排出	10	9.2%
ごみそのものが出ない	33	30.3%
無効	0	-
無回答	27	24.8%
調査数	109	100.0%



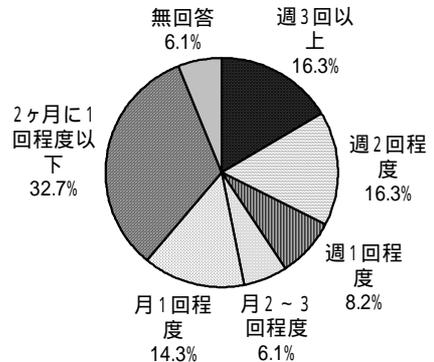
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	1	2.0%
資源物回収ステーションに排出	1	2.0%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	26	53.2%
民間の処理業者に委託	14	28.6%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	1	2.0%
その他	1	2.0%
無効	1	2.0%
無回答	4	8.2%
調査数	49	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	8	16.3%
週2回程度	8	16.3%
週1回程度	4	8.2%
月2~3回程度	3	6.1%
月1回程度	7	14.3%
2ヶ月に1回程度以下	16	32.7%
無効	0	-
無回答	3	6.1%
調査数	49	100.0%



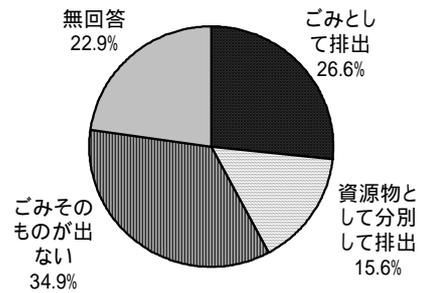
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・ 民間

7) 布類

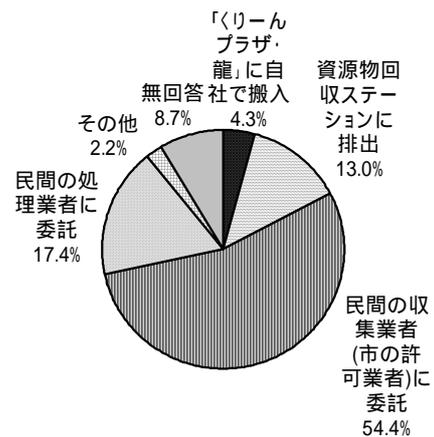
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	29	26.6%
資源物として分別して排出	17	15.6%
ごみそのものが出ない	38	34.9%
無効	0	-
無回答	25	22.9%
調査数	109	100.0%



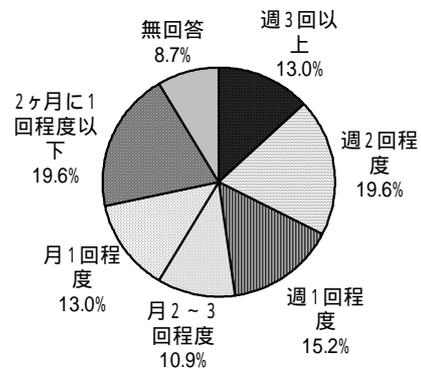
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	2	4.3%
資源物回収ステーションに排出	6	13.0%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	25	54.4%
民間の処理業者に委託	8	17.4%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	1	2.2%
無効	0	-
無回答	4	8.7%
調査数	46	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	6	13.0%
週2回程度	9	19.6%
週1回程度	7	15.2%
月2~3回程度	5	10.9%
月1回程度	6	13.0%
2ヶ月に1回程度以下	9	19.6%
無効	0	-
無回答	4	8.7%
調査数	46	100.0%



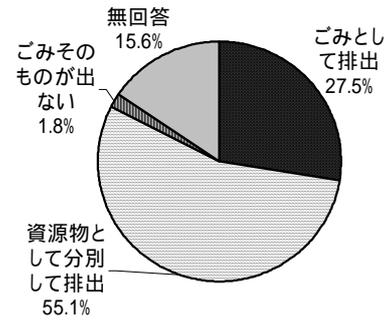
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・市の収集場所

## 8) びん類

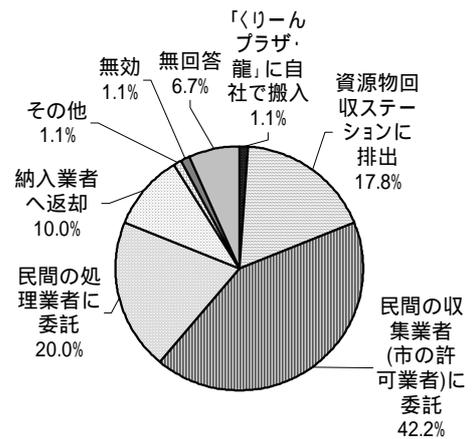
### 分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	30	27.5%
資源物として分別して排出	60	55.1%
ごみそのものが出ない	2	1.8%
無効	0	-
無回答	17	15.6%
調査数	109	100.0%



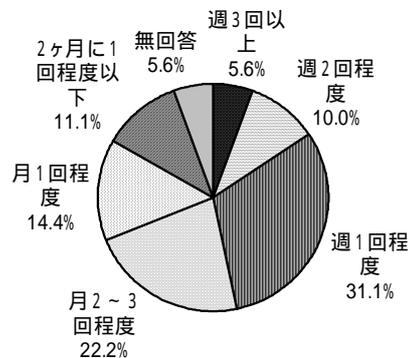
### 主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	1	1.1%
資源物回収ステーションに排出	16	17.8%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	38	42.2%
民間の処理業者に委託	18	20.0%
納入業者へ返却	9	10.0%
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	1	1.1%
無効	1	1.1%
無回答	6	6.7%
調査数	90	100.0%



### 排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	5	5.6%
週2回程度	9	10.0%
週1回程度	28	31.1%
月2~3回程度	20	22.2%
月1回程度	13	14.4%
2ヶ月に1回程度以下	10	11.1%
無効	0	-
無回答	5	5.6%
調査数	90	100.0%



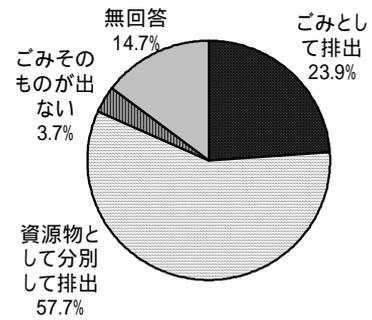
### < 主な排出方法のその他の回答 >

- ・ 民間

9) 缶類

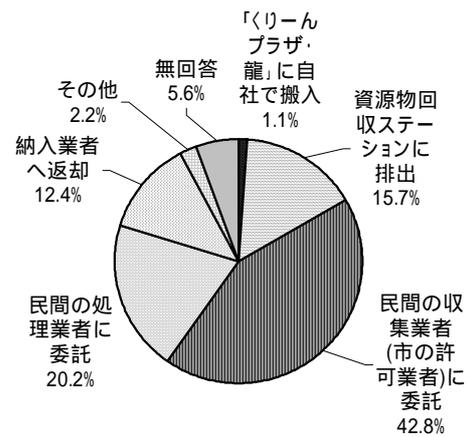
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	26	23.9%
資源物として分別して排出	63	57.7%
ごみそのものが出ない	4	3.7%
無効	0	-
無回答	16	14.7%
調査数	109	100.0%



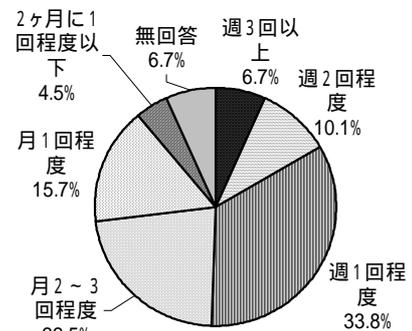
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	1	1.1%
資源物回収ステーションに排出	14	15.7%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	38	42.8%
民間の処理業者に委託	18	20.2%
納入業者へ返却	11	12.4%
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	2	2.2%
無効	0	-
無回答	5	5.6%
調査数	89	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	6	6.7%
週2回程度	9	10.1%
週1回程度	30	33.8%
月2~3回程度	20	22.5%
月1回程度	14	15.7%
2ヶ月に1回程度以下	4	4.5%
無効	0	-
無回答	6	6.7%
調査数	89	100.0%



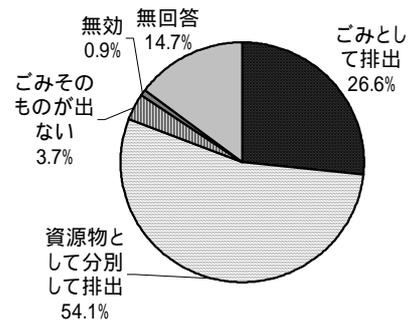
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・ 製鉄原料問屋に売却
- ・ 民間

10) ペットボトル

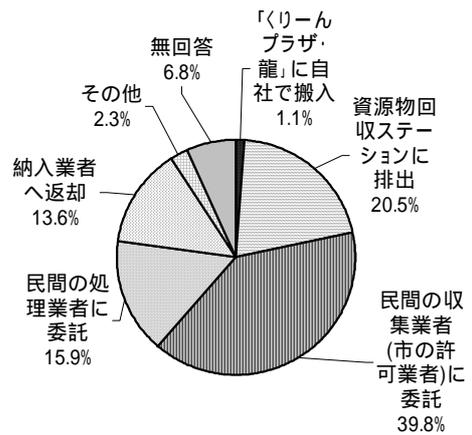
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	29	26.6%
資源物として分別して排出	59	54.1%
ごみそのものが出ない	4	3.7%
無効	1	0.9%
無回答	16	14.7%
調査数	109	100.0%



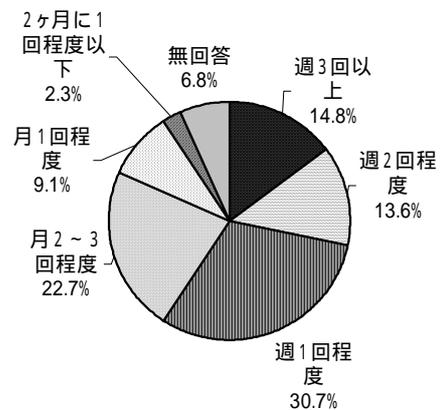
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	1	1.1%
資源物回収ステーションに排出	18	20.5%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	35	39.8%
民間の処理業者に委託	14	15.9%
納入業者へ返却	12	13.6%
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	2	2.3%
無効	0	-
無回答	6	6.8%
調査数	88	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	13	14.8%
週2回程度	12	13.6%
週1回程度	27	30.7%
月2~3回程度	20	22.7%
月1回程度	8	9.1%
2ヶ月に1回程度以下	2	2.3%
無効	0	-
無回答	6	6.8%
調査数	88	100.0%



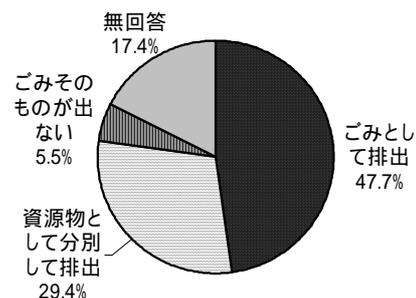
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・市のリサイクル
- ・民間

## 11) プラスチック類

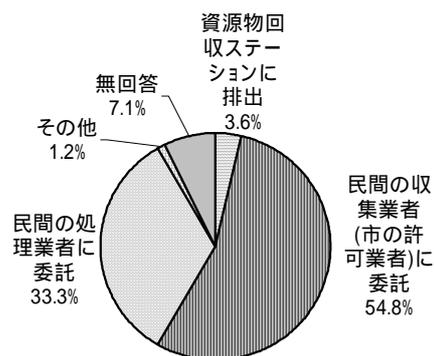
### 分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	52	47.7%
資源物として分別して排出	32	29.4%
ごみそのものが出ない	6	5.5%
無効	0	-
無回答	19	17.4%
調査数	109	100.0%



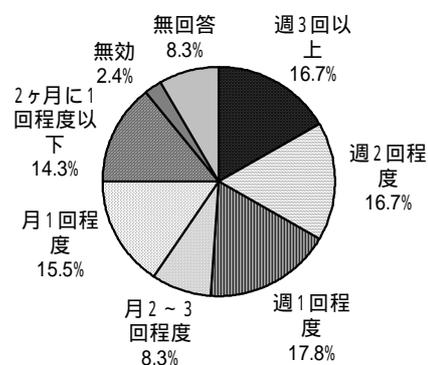
### 主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	0	-
資源物回収ステーションに排出	3	3.6%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	46	54.8%
民間の処理業者に委託	28	33.3%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	1	1.2%
無効	0	-
無回答	6	7.1%
調査数	84	100.0%



### 排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	14	16.7%
週2回程度	14	16.7%
週1回程度	15	17.8%
月2~3回程度	7	8.3%
月1回程度	13	15.5%
2ヶ月に1回程度以下	12	14.3%
無効	2	2.4%
無回答	7	8.3%
調査数	84	100.0%



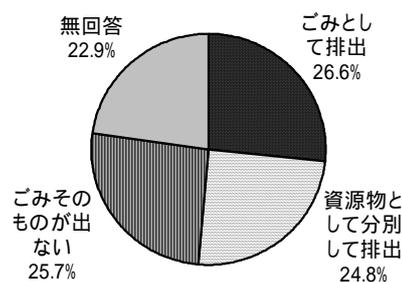
### < 主な排出方法のその他の回答 >

- ・ 民間

## 12) 金属くず

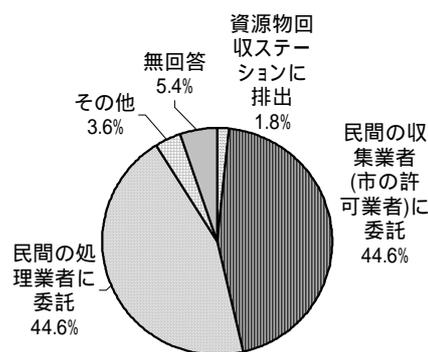
### 分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	29	26.6%
資源物として分別して排出	27	24.8%
ごみそのものが出ない	28	25.7%
無効	0	-
無回答	25	22.9%
調査数	109	100.0%



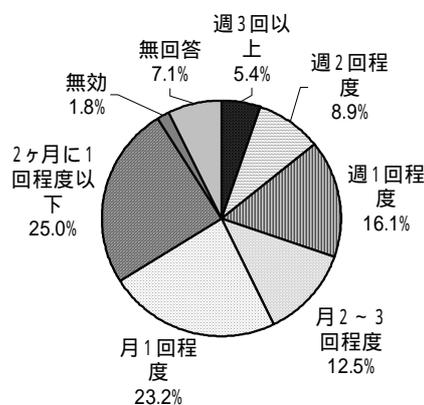
### 主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	0	-
資源物回収ステーションに排出	1	1.8%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	25	44.6%
民間の処理業者に委託	25	44.6%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	2	3.6%
無効	0	-
無回答	3	5.4%
調査数	56	100.0%



### 排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	3	5.4%
週2回程度	5	8.9%
週1回程度	9	16.1%
月2~3回程度	7	12.5%
月1回程度	13	23.2%
2ヶ月に1回程度以下	14	25.0%
無効	1	1.8%
無回答	4	7.1%
調査数	56	100.0%



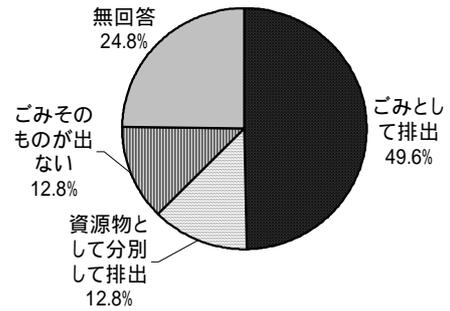
### < 主な排出方法のその他の回答 >

- ・ 製鉄原料問屋に売却
- ・ 民間

13) ガラス・陶磁器類

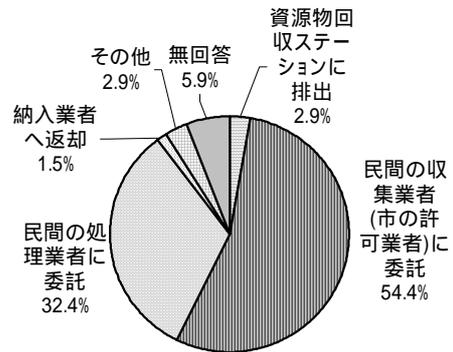
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	54	49.6%
資源物として分別して排出	14	12.8%
ごみそのものが出ない	14	12.8%
無効	0	-
無回答	27	24.8%
調査数	109	100.0%



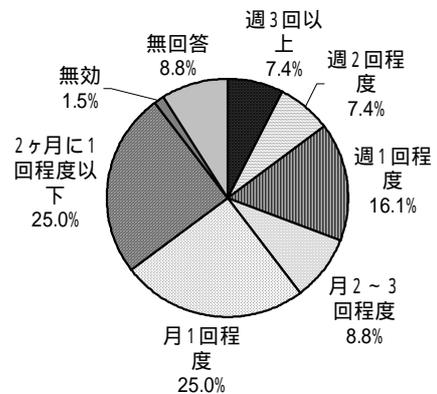
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	0	-
資源物回収ステーションに排出	2	2.9%
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	37	54.4%
民間の処理業者に委託	22	32.4%
納入業者へ返却	1	1.5%
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	2	2.9%
無効	0	-
無回答	4	5.9%
調査数	68	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	5	7.4%
週2回程度	5	7.4%
週1回程度	11	16.1%
月2~3回程度	6	8.8%
月1回程度	17	25.0%
2ヶ月に1回程度以下	17	25.0%
無効	1	1.5%
無回答	6	8.8%
調査数	68	100.0%



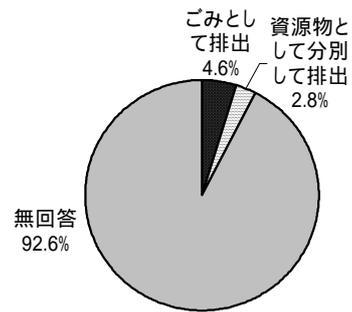
< 主な排出方法のその他の回答 >

- ・市の収集場所
- ・民間

14) その他

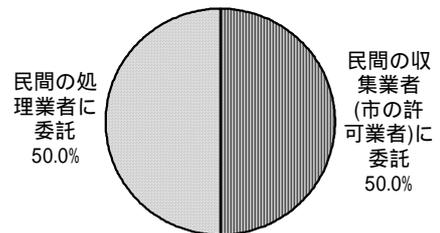
分別状況

選択肢	実数	割合
ごみとして排出	5	4.6%
資源物として分別して排出	3	2.8%
ごみそのものが出ない	0	-
無効	0	-
無回答	101	92.6%
調査数	109	100.0%



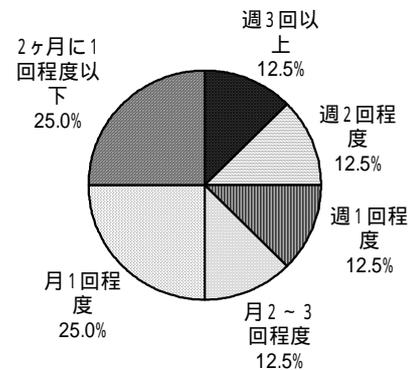
主な排出方法

選択肢	実数	割合
「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入	0	-
資源物回収ステーションに排出	0	-
民間の収集業者(市の許可業者)に委託	4	50.0%
民間の処理業者に委託	4	50.0%
納入業者へ返却	0	-
自社で再生利用	0	-
自社で処理・処分(堆肥化, 埋立等)	0	-
その他	0	-
無効	0	-
無回答	0	-
調査数	8	100.0%



排出頻度

選択肢	実数	割合
週3回以上	1	12.5%
週2回程度	1	12.5%
週1回程度	1	12.5%
月2~3回程度	1	12.5%
月1回程度	2	25.0%
2ヶ月に1回程度以下	2	25.0%
無効	0	-
無回答	0	-
調査数	8	100.0%



その他のごみ・資源物の内容：廃油、畳、残土

## 4. 総括

事業者意識調査では、事業所におけるごみやリサイクルに対する意識、ごみ・資源物の排出状況等を調査しました。本市内に所在する事業所を対象に、調査票 200 通を郵送して 109 通の回答をいただき、回収率は 54.5%（調査票到着数に対しては 55.1%）でした。

質問のテーマごとに、調査結果の傾向を以下に総括としてとりまとめます。

### 4.1 ごみの排出・リサイクルについて

ごみの減量やリサイクルの取り組みについては、ほぼ全ての事業者がその重要性を理解しており、4 割を超える事業者が積極的に取り組んでいます。リサイクル品をできる限り使用するようにしている、資源物はすでに分別してリサイクルしているといった回答が比較的多いことから、リサイクルへの取り組みに努めていることがわかります。

また、ごみの減量やリサイクルについて、5 割を超える事業者が、今後具体的に取り組みたい、または協力していきたいという前向きな姿勢を示しています。このような事業者が積極的に行動していくように、教育・指導、情報提供、協力要請など、行政からの働きかけも重要であると考えられます。

現在はごみとして排出しているもののうち、新たに分別してリサイクルできると思う品目は、ダンボール、ペットボトル、缶類等の回答が多く、具体的な取り組み方法としては、「資源回収業者に引き渡す」が多くを占めています。資源回収業者やリサイクルシステム等の情報を事業者提供して、リサイクルを推進する必要があるといえます。

事業系ごみのリサイクルを推進するために必要と考えることは、「行政による資源回収システムの整備」が 6 割以上を占めています。事業者自身による対応よりも、行政による対応や支援を求める回答が多く、事業系ごみについても行政への期待が大きいことがわかります。

### 4.2 ごみ・資源物の排出状況

事業所における分別状況としては、新聞紙・雑誌、ダンボール、びん類、缶類、ペットボトルは資源物として排出されている割合が多く、OA 用紙、その他の紙類、生ごみ、木くず、プラスチック類、ガラス・陶磁器類は、ごみとして排出されている割合が多くなっています。

また、排出方法は、ほぼ全ての品目で「民間の収集業者（市の許可業者）に委託」が最も多くなっています。

排出頻度は、生ごみおよび紙類は、週 2 回以上の排出が多く、びん類、缶類、ペットボトル等は週 1 回程度の排出が最も多くなっています。



## 第 III 編 自由意見



市民意識調査の自由意見欄に寄せられたご意見・ご要望等について、テーマごとにいくつか紹介します。

### 1. ごみに関する意識・取り組み

- ・市民は、ルールを守り、資源の再利用と減量に積極的に努力する。
- ・私たちの税金が少しでも無駄にならないよう、一人一人の協力が必要、力をあわせてガンバロー。
- ・ゴミを出さないように努力している。
- ・自分がちゃんと分別するようにする。
- ・ゴミ問題はその人のモラルの問題だと思う。ゴミ出しカレンダーは目の届くところに。
- ・ごみ問題は、毎日の生活から生じることであり、お互いにルールを守り、ごみを少なくすることが大事。
- ・もう一度生活を見直すことが大切。教育から見直してみてもいい。
- ・個人が考え、行動せざるをえない対策が必要だと思う。
- ・良いものを作り、長く使う生活文化をつくっていくことが大切。
- ・まず、ごみを減少させなければいけないという意識づけがスタート。
- ・ごみを減らす努力が足りなかったと反省。もう少し考えて生活しなくては。
- ・友達ですごく減量やりサイクルに取り組んでいる人がいて、見習おうと思っている。
- ・班の集会は、出席率も高いので、皆で話し合ってもらいたい。
- ・市民のモラルが低い。
- ・意識の差がとてもあるように感じる。
- ・正直、ごみ問題についてはあまり関心がない。今の若者は、こういった考えが多いのでは。

### 2. ごみの減量化について

- ・ごみ減量は市の財政に大変影響するので、もっとPRし、多くの人に関心を持ってほしい。
- ・草木などはなるべく土に埋めるなどして減量を。資源ゴミも減量が必要なので、有料化の検討も必要かと思う。
- ・家から出る雑紙をリサイクルに出したらゴミが減った。
- ・過剰包装が多量のごみが出る一番の原因。
- ・レジ袋を完全有料化にし、マイバック持参にするとよい。
- ・市でエコバックを配ってくれるとうれしい。
- ・生ごみはまだまだ減らすことができる。指定袋に責任をもって記名すれば、もっと減る。
- ・生ごみ処理容器を無料配布して、生ごみの減量化。
- ・学校給食の残飯がすごい量とのことで残念に思う。どうにかならないのでしょうか？
- ・袋代をもう少し高くして、減量化を図る。
- ・具体的な取り組みの例はほぼ実行しているので、有料化になってもごみ量は変わらない。

### 3. リサイクルについて

- ・資源物はさらに細分化。粗大ごみのリユース掲示板など。
- ・資源に出した物が、最終的にどんな品物に生まれ変わったのか、具体的にわかるとやりがいがある。衣類は、どうなっているのか、気になっている。
- ・市民に呼びかける前に、市がリサイクルできる体制を整えるべき（特に、その他プラ）
- ・白トレーとペットボトル以外のプラ容器包装も資源として出したいと日頃思っている。
- ・木・枝・落ち葉などは、堆肥化して自然に返すのがいい。
- ・食用廃油のリサイクルの取り組みが不十分。公用車の燃料にしたら、財政の足しになる。

- ・自転車・家電製品・家具等の粗大ごみのリサイクルシステムを研究してほしい。
- ・不要になったもので、まだ使えるもののリサイクルする方法を考えてほしい。
- ・外国のリサイクルボックスはとても良い。洋服ボックス、靴ボックスなどが設置してあり、捨てる人、持っていく人がいます。子供や大人が楽にごみ分別できるボックスがあると、難しく考えずにリサイクルできる。
- ・フリーマーケットを天気に影響されないアリーナや文化会館で開催。牛久市のごっ多市は大変にぎわっている。
- ・もったいない掲示板は、名前や電話番号を表示するのに抵抗がある。写真や詳細のみのせて、個人情報 は公民館の人が管理。
- ・リサイクルショップなどには持参するのが大変。
- ・リサイクルの日まで、家庭での置き場に困り、ごみで出してしまうこともある。
- ・資源ごみに対する助成金は廃止してもいいと思う。

#### 4. 収集方法・回数・品目について

- ・集積所方式はやめ、各家庭前に出す方式にしてほしい。
- ・ごみの収集を夜間に行くと、車も人も少なくてよいらしい。
- ・地区のリサイクル回収時間が早すぎて出せない。
- ・資源物の回収は、月2回でいいと思う。
- ・燃やせるゴミは週2回でよいと思う。ただし、枝葉など掃除で出たゴミは無料で。
- ・週3回の収集は本当に助かる。ありがとうございます。
- ・収集日の回数は、これ以上減ると困る。
- ・もっと身近に出しに行くところがあるとよい。リサイクルステーションの回収も週1回あると良いのでは。
- ・以前はプラスチックの分別をしていたが、今はしていない。もう一度実施してほしい。
- ・発泡スチロール、廃油の処理に困っているので、回収してほしい。
- ・資源回収品目の拡大・細分化。
- ・リサイクル日が少ない(自由に置ける場所)。
- ・新聞・チラシと雑誌の分別は負担。
- ・独り者や共働き者にとって分別は大変。時間的・場所的にも制約されており、いつでも出せる場所を増やしてほしい。
- ・リサイクルステーションは、燃やすごみと同じにしてほしい。
- ・資源ごみ置き場が普通のごみと同じになれば、出すのが楽になると思う。
- ・一般の集積所がリサイクルステーションになれば、サンデーリサイクルはなくなる。
- ・サンデーリサイクルは、月1回の利用だが、当方の都合でいけるので、毎週はありがたい。

#### 5. 分別・排出方法、集積所環境について

- ・市指定袋ではなく、スーパーの袋でよいと思う。それより一人一人がゴミの減量化を考えるべき。
- ・指定袋は、引越しなどで残った場合無駄になる。記名式がいいと思う。
- ・市としては、十分啓発に力を入れてきていると思うので、多少の強行策も必要。指定袋使用・記名の徹底だけでも多少変わると思う。
- ・記名式は、プライバシーの問題がある。
- ・ごみ袋の種類を増やしてほしい。中・小小など。
- ・ごみ袋がすぐ破けてしまうことがあるので、破けにくいものを使用したい。
- ・どの種類のごみなのか迷うことがある。職員が出向いて教えてくれると助かる。

- ・ 分別の仕方について、もっと詳しい情報がほしい。
- ・ 粗大ごみの出し方がわからない。
- ・ 粗大ゴミの値段が高い。
- ・ マンションなどいつでも出せる所では、徹底させるのが難しい。
- ・ 集積所の前に住んでいるが、場所は永久にかわらないのでしょうか。
- ・ ごみ集積所が少ない。
- ・ 集積場の掃除も当番で行っており、気持ちよく使えるよう心がけている。
- ・ リサイクルのかごが不足する時がある。

## 6. 分別排出に関するルール違反等

- ・ スーパーのレジ袋でごみを出している人もいる。ルールを守っている人がバカを見ないように行政指導をちゃんとしてほしい。
- ・ 場所によっては、夜などに区別なく出している所もある。ゴミパトロールや班に対しての注意も必要だと思う。
- ・ 車で違う地区から持ってくる人がいる。責任のない人が多くなってきているので、記名義務の措置などをした方がよい。
- ・ 通りすがりの人がルールを無視して置いていく。
- ・ ペットボトルの中身を洗っていないものがある。
- ・ 警告シールは何が違反なのかわからない。
- ・ 警告シールを貼っても、誰が出したごみかわからず、そうじ当番時に何回か持ち帰る事がある。
- ・ ルール違反のごみ処理に、当番が困っている。
- ・ ルールを徹底させるには、ある程度強力で推進させる必要がある。
- ・ アパートに新しい方が入居したとき、ルールが守られないときがある。
- ・ 外国人のアパート住民が増えごみ出しが守られないので、大家さんに対し市のほうから徹底してほしい。
- ・ ルールを守らない人が多いけど、変な人もかもしれないので、注意できない。
- ・ 当番が、同じ地区の人を注意するのはトラブルのもと。市が指導員を準備するしかない。
- ・ 個人のモラルの問題なので、ルールを作っても違反する人はする。
- ・ ごみ当番があり、この地区ではほとんどルールが守られている。
- ・ 私の集積所はいつもルールが守られている。たまに新住人がきたとき違う日にごみが出される場合があるが、班長さんが話をするのだろう、次回からは守られている。

## 7. 生ごみの処理について

- ・ 生ごみ処理機は高すぎる。
- ・ 生ごみ処理機に関心があるが、講習をうけないと補助金を頂けないと知り、時間が合わず購入できずにいる。
- ・ 生ごみ処理機も簡単で安いものがあればと思う。
- ・ 飲食業は生ごみの量が多いので、生ごみ処理機の購入補助を多くしてほしい。
- ・ 生ごみの堆肥化を検討し、できた堆肥を安価に提供してほしい。
- ・ 生ごみは、発酵させ耕地に還元するシステムに変えるべき。
- ・ 市は、最小限度費用を負担し、生ごみは肥飼料等にする施設の設置。
- ・ 食べ残しはホームコンポストで処理しているので、生ごみはほとんど出ない。
- ・ 生ごみはボカシ等色々試したが、虫や匂いなど近所迷惑になる。処理機は高い。

## 8. 焼却処理について

- ・枝木や落ち葉等は、家庭で燃やしても有害ではないから良いのでは。
- ・焼却禁止等に伴うごみ排出拡大及び増加。
- ・自家焼却する人・企業が多く、排煙が有害であり、厳しい対処を希望。
- ・朝早く近所の農家は、時々ビニールを燃やしている。他でも見かけるので、取り締まれないでしようか。
- ・有料化や記名式にすると、家庭でごみを燃やす人がさらに多くなる。プラ類などなんでも燃やしているのでは、悪臭と黒煙で近所迷惑です。

## 9. ごみ処理の有料化について

### (1) 反対意見

- ・有料化には絶対反対。
- ・龍ヶ崎市は、税金等も高いので、有料化は困る。
- ・ごみを出す量に応じて負担額を決めると、不法投棄の原因となると思う。税金で負担し、その他の税金の無駄をなくしてほしい。
- ・消費側だけの改善ではだめ。提供側の改善をしないと問題は解決されず、現状では、消費者はごみを買っているようなもの。この状況での有料化は反対。
- ・ごみ処理は有料化せず、税金でまかなうべき。財政が苦しいなら、市議を半分に削減、りゅうほーの廃止などやれる事があるはず。
- ・市の財政が苦しいからと個人負担となっても、減量は一時的なもの。基本的な方法や取り組みを提示して、一人一人が取り組んでいく方が未来に希望が持てる。リサイクル店、バザー等の具体的な情報提供をし、意識を変えていく方に進んでほしい。個人負担は反対。
- ・減量に心がけても、大家族や介護をかかえているとごみは多くなってしまふ。有料化、相応負担は反対。
- ・費用がかかるのはわかるが、家庭ごみの有料化はなるべくしない方向で検討してほしい。

### (2) 賛成意見

- ・量に応じた費用負担は大いに賛成。一律では、減量に努めている人は不公平を感じる。節約の気持ちから、ごみ減量に努めるかも。
- ・ごみ減量化を図るためには、家庭ごみ有料化を早急に実施すべき。来年度から導入すべき。
- ・不法投棄が解決できれば、ごみを出す人が負担することがベスト。

### (3) その他の意見

- ・ごみ袋を規定量無料で配布し、あとは今より高い値で購入するしくみがいい。不法投棄の不安があるが。
- ・税金負担の上限を決めておき、あとは市民負担。
- ・相応の負担となる仕組みとして、ごみ袋代をもっと高く設定する。
- ・有料化により増えた収入は、応分の環境策が必要。それを明確化すべき。
- ・有料のゴミ袋は、サイズをもうけた方がよいと思う。量に応じて料金が変わるようにしてほしい。
- ・出す量に応じて負担するシステムだと、不法投棄が増加すると思う。
- ・有料化すると不法投棄が心配だが、原則、自分で出すものには責任がある。
- ・有料化すると、地区以外に捨てる人が増える。
- ・個人負担が多いと不法投棄が増える。
- ・収集回数を週2回にする、雑紙をリサイクルするなど、有料化する前に税金を無駄にしないでごみ

を減らす方法を考えるべき。

- ・使える粗大ごみは無料収集するなど、リサイクル品や粗大ごみのリサイクル等、積極的に行動・宣伝してほしい。個人負担を呼びかける前に、市の対応が先。
- ・枝葉等のゴミは無料で。
- ・有料化は一時的な減量にはなるが、根本的な対策にはならない。
- ・ごみ有料化もやむをえないが、既にごみ減量を行っている家庭までも負担増になる施策は間違い。最低限のごみ処理は税金で負担。
- ・住民税は所得に応じて払っているのだから、ごみ処理の費用負担は不公平に感じる。

## 10. 不法投棄問題

- ・不法投棄監視員制度を先駆け、補助金を出す。
- ・家電製品の処理費用が負担になり、不法投棄が増えたように思う。
- ・不法投棄が多いので、そのような場所は重点的なパトロールが必要。小中学生の授業に地域清掃をとりいれてみては。
- ・不法投棄の多い場所に監視カメラを設置し、検挙する体制を確立。善良な市民が不法投棄ごみの後始末をするのは、不法投棄を助長させる。
- ・市役所職員による無償のパトロールを行う。不法なごみは、市民のために税金で生活している市職員が行うべき。時間的に市職員は楽をしている人が多いのだから、出来るはず。
- ・あまりにも厳しすぎるので、不法投棄が多い。
- ・道やバス停等のごみがひどく、ポイ捨て条例など必要。
- ・タバコのポイ捨てなどにも罰金罰則を。
- ・きびしく罰則を課すとポイ捨てもなくなる。
- ・最近では、自転車の乗り捨てが少なくなったようです。

## 11. 事業系ごみ・事業者による対応等

- ・家庭ごみとして出ている事業系ごみは大量なので目に付く。この点を徹底しては？
- ・業務用ゴミの処理方法を、業者に徹底させる。業者の教育や処理の実態を調査する。
- ・家電品などは購入時にリサイクル料を支払うシステムにし、リサイクル時には事業者が無料で引き取る。(リサイクル時の費用負担は不法投棄につながる)
- ・スーパー等では、リサイクル可能なパッケージを使って商品を販売すべき。
- ・消費者も努力が必要だが、メーカーの努力も甘い。ラベル等がはがしづらいなど分別しづらい商品がある。
- ・店頭でのパック販売・購入は減らすべき。ごみを増やす商品は選ばないなど、リサイクル・減量に積極的になるべき。
- ・スーパーの店頭回収は、ペットと白トレイだが、缶もあるとうれしい。
- ・企業が簡易包装やリサイクルできる製品を開発するなど徹底する必要がある。ドイツでは、ビンやペットボトルの形が全て同じとか。
- ・家電製品が壊れると、部品交換などの修理ができない場合が多いので、業者は部品をそろえてほしい。

## 12. 環境教育・啓発事業

- ・各地区の班単位でごみ削減のための話し合いの場を作り、意見交換し、身近なところから実施。
- ・ごみ問題を駅ポスター等でより多くの人々の目にふれる形で提示する。
- ・広報紙や回覧などで啓発を徹底する必要がある。

- ・サンデーリサイクルは知らなかった。場所もわからないので知らせてほしい。粗大ゴミを持ち込める所など情報は年に何回かは知らせてほしい。
- ・各地区の環境衛生係、市職員が中心になり、収集日に監視及び指導のため現場に立つ。それを繰り返し意識を高める。
- ・施設見学・ごみ置き場の清掃など、何らかのかかわりを持たせるようにする。
- ・子供の頃からの教育が大切。
- ・子供の教育は効果があると思うが、それにはまず現場の教師の教育が必要。
- ・個々の意識が問題だと思う。子供への教育や企業への働きかけを。
- ・アパート・マンション近くの汚れが気になる。学生、外国人、単身者への啓発運動の充実を期待。
- ・アパートの入居時に、不動産屋さん・持ち主は、ごみ出しについて良く説明してほしい。
- ・転入時に市の窓口よりごみ出しのルール等を説明するといい。
- ・アパートに回覧はこないなので、回覧による周知は困る。
- ・せっかくの市広報を読まない人も多いので、懇談会・説明会の充実。
- ・広報や回覧は見ない人が多いと思う。当番の指導は負担が大きいと思う。

### 13. 行政への要望等

- ・何でもかんでも市民の協力を得ることは、市民が納得しない。行政が手本を示す。
- ・行政の経費削減を先に行うべきだ。
- ・市の職員も各地区を巡回し、状況を点数にして公表すればよいと思う。
- ・ゴミ処理に関する行政の取り組みを、経費の問題を含め公表して、協力をうながしてほしいと思う。
- ・ゴミ問題に限らず、広い視野で対策をたててほしいと思う。
- ・美化や利便性ばかりを追及するのではなく、環境に配慮した市政を。市民の声を反映させてほしい。
- ・リサイクルや処理費用だけが問題ではない。当番という市民の負担もある。カラスや猫があらすのでネット等の費用を負担してほしい。
- ・同じ納税者でも市のサービスが異なることに不満。住民が多いところに手厚いサービスがいくことに納得がいかない。
- ・ごみ減量への行政の積極的な取り組みが、市民から見えない。
- ・今回のような調査結果をわかりやすく市民に開示していく必要がある。
- ・郵送に使用された封筒も大きすぎて、資源の無駄。
- ・このアンケートにも税金が使われているので、無駄にならないことを祈る。
- ・このようなアンケートは、もっと多くの人にしてもらいたい。

### 14. その他

- ・ごみ処理の経費の内訳を、広報誌などで明らかにしてほしい。
- ・16億円について、住民の努力でどこまで下げることが可能なのか知りたい。
- ・毎年16億円もの税金が使われていると知り、とても驚いた。
- ・3万トンの8割の家庭ごみの内訳は？ごみの種類により、何をすべきか考えられるので、その情報を出してください。
- ・モラルが低下している現代では、広報等で情報提供してもなかなか守られないので、違反者には罰則を課すような条例等も必要。
- ・税金を払っているので当然と考える市民が多く、市の財政を有効に活用する意識が希薄である。
- ・一般ごみとして排出されやすい牛乳パックなどは、排出量に応じて補助券を発行し、巡回バスや湯ったり館の利用券と交換するようなくみがあってもいい。

# < 資料 > 調 查 票



## 「ごみ処理基本計画に関する市民意識調査」アンケート用紙

問1 回答される方について，下記の項目をお答えください。( は各項目1つ)  
 家族で相談した方は，中心になった方の当てはまる番号を選んでください。

1-1 あなたの性別をお答えください。	1 . 男	2 . 女
1-2 あなたの年齢をお答えください。	1 . 20 歳 ~ 29 歳 3 . 40 歳 ~ 49 歳 5 . 60 歳 ~ 69 歳	2 . 30 歳 ~ 39 歳 4 . 50 歳 ~ 59 歳 6 . 70 歳以上
1-3 あなたの職業をお答えください。	1 . 会社員 3 . 自営業 ( 農業 ) 5 . 主婦・主夫 7 . 学生 9 . その他 ( )	2 . 公務員・教員 ( 団体職員を含む ) 4 . 自営業 ( 商工・サービス業 ) 6 . パート・アルバイト 8 . 無職
1-4 あなたの世帯人員をお答えください。	1 . 1 人 3 . 3 人 5 . 5 人	2 . 2 人 4 . 4 人 6 . 6 人以上
1-5 あなたの住居形態をお答えください。	1 . 戸建住宅 3 . 店舗付住宅	2 . 集合住宅 ( マンション・アパート ) 4 . その他 ( )
1-6 あなたは龍ヶ崎市に住して何年になりますか。	1 . 3 年未満 3 . 5 年 ~ 10 年未満 5 . 20 年以上	2 . 3 年 ~ 5 年未満 4 . 10 年 ~ 20 年未満
1-7 あなたは現在どちらの地区 ( 中学校区 ) にお住まいですか。	1 . 愛宕中学校区 3 . 城西中学校区 5 . 中根台中学校区	2 . 城南中学校区 4 . 長山中学校区 6 . 城ノ内中学校区
町 名 : _____ 中学校区が分からない場合は，町名のみ記入してください。		

問2 あなたは，ごみ問題にどの程度関心がありますか。( は1つ)  
 1 . 非常に関心がある  
 2 . ある程度関心がある  
 3 . あまり関心がない  
 4 . まったく関心がない  
 5 . わからない

問3 問2において、「1, 2」に つけた方にお伺いします。あなたが関心あるごみ問題は何ですか。( は3つまで)

1. 使い捨てによって、資源が浪費されていること
2. ごみが大量に排出され、その処理が追いつかなくなること
3. ごみの埋立地(最終処分場)が不足すること
4. ごみ処理費用がかさみ、市の財政に負担を与えていること
5. 粗大ごみや家電製品などの不法投棄が多いこと
6. ごみの散乱などで、まちの美観が損なわれていること
7. その他(具体的に: )

問4 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。( は1つ)

1. 日々取り組んでいる
2. 自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる
3. 意識はしているが、あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない
5. わからない

問5 問4において、「1, 2」に つけた方にお伺いします。あなたが行っている取り組みは、具体的にどのようなものですか。( はいくつでも)

1. 使い捨て商品の購入を控えている
2. 詰め替え商品を積極的に利用している
3. 過剰包装やレジ袋を断っている
4. 買い物袋(マイバッグ)を持参している
5. 計画的に買い物を行い、無駄な物をできるだけ購入しないようにしている
6. 食べ残しが出ないようにしている
7. 生ごみは、水を切り、減量してから出している
8. 生ごみ処理機などを使用して、生ごみを減量・堆肥化している
9. 物はできるだけ長く使い、故障したものは、修理して再度使用している
10. リサイクルショップやバザーなどを積極的に利用している
11. 燃やすごみにならないよう、雑がみの分別を徹底して資源物に出している
12. カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底して資源物に出している
13. その他(具体的に: )

問6 問4において、「3, 4」に つけた方にお伺いします。あなたがごみの減量やリサイクルに関する取り組みをしない理由は何ですか。( は3つまで)

1. めんどうだから
2. ごみの減量やリサイクルの方法がわからないから
3. 自分一人やっても効果がないと思うから
4. 減量やリサイクルする必要はないと考えているから
5. リサイクル製品や詰め替え製品よりも価格を優先するから
6. 過剰包装やレジ袋を断ることができないから
7. 家庭内にごみや資源物を保管するスペースがないから
8. 減量化やリサイクルのためにお金がかかるから
9. 中古製品を購入・使用するのにためらいがあるから
10. リサイクル製品の性能・品質に疑問を感じるから
11. その他(具体的に: )

- 問7 ごみ問題に関する知識や情報をどのように得ていますか。( は3つまで)
1. 家族・友人・知人
  2. 学校・職場
  3. テレビ・新聞・書籍
  4. 市広報紙
  5. 市ホームページ
  6. 啓発用パンフレット(ごみ・資源物の出し方など)
  7. イベント・キャンペーン
  8. その他(具体的に: )

- 問8 ごみ問題の取り組み状況やごみの減量化・リサイクルの方法などの情報に関して、今後どのような形で知らせてもらえば理解しやすいですか。( は3つまで)
1. 市広報紙(りゅうほー)
  2. 市広報紙(特集号)・チラシ
  3. 市ホームページ
  4. 回覧
  5. ポスター
  6. 市民懇談会・説明会
  7. イベント・キャンペーン
  8. その他(具体的に: )

- 問9 あなたの家庭では、どのくらいの頻度でごみを出していますか。ごみの種類ごとにお答えください。( はごみの種類別に1つ)

燃やすごみ	週3回程度	週2回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	その他
	1	2	3	4	5	6

燃やさないごみ	2週間に1回程度	月1回程度	2か月に1回程度	その他
	1	2	3	4

- 問10 龍ヶ崎市では、資源物は地区のリサイクルステーション(月2回)のほか、毎週日曜日のサンデーリサイクル(3拠点)でも出すことができます。  
あなたの家庭では、資源物をおもにどこに出していますか。( は1つ)
1. 地区のリサイクルステーション
  2. サンデーリサイクル
  3. 地区のリサイクルステーションとサンデーリサイクルの双方
  4. 集団回収
  5. 店頭回収
  6. その他(具体的に: )

問 1 1 あなたの家庭では、どのくらいの頻度で資源物を出していますか。資源物の種類ごとにお答えください。( は各項目 1 つ)

資源物の種類	ほぼ毎週	月 3 回程度	月 2 回程度	月 1 回程度	その他
カン	1	2	3	4	5
ビン	1	2	3	4	5
ペットボトル	1	2	3	4	5
新聞・チラシ	1	2	3	4	5
ダンボール	1	2	3	4	5
雑がみ	1	2	3	4	5
紙パック	1	2	3	4	5
布類	1	2	3	4	5
白トレ	1	2	3	4	5

問 1 2 ごみや資源物の収集回数について、あなたの家庭の実際の排出頻度と照らし合わせて、どうお考えですか。下記の区分ごとにお答えください。( は各項目 1 つ)

区分 (現在の収集回数)	多すぎる	ちょうど良い	少ない	わからない
燃やすごみ (週 3 回)	1	2	3	4
燃やさないごみ (月 2 回)	1	2	3	4
資源物：ステーション回収 (月 2 回)	1	2	3	4
資源物：サンデーリサイクル (毎週)	1	2	3	4

問 1 3 あなたは、現在の資源物の収集品目について、どうお考えですか。( は 1 つ)

1. 多すぎる
2. ちょうど良い
3. 少ない
4. わからない
5. その他 (具体的に： )

問 1 4 問 1 3 において、「3」に をつけた方にお伺いします。資源物の収集品目を追加した場合に、あなたが日常的に取り組むことができるものは何ですか。( はいくつでも)

1. 食用廃油を貯めておき、回収に出すこと
2. プラスチック製容器包装の分別を徹底して出すこと
3. 異物をきちんと取り除いてから、生ごみを出すこと
4. 枝・木を一定のサイズにそろえて出すこと
5. 特に取り組むことはない
6. わからない
7. その他 (具体的に： )

問 1 5 龍ヶ崎市の平成 18 年度の一般廃棄物の排出量は約 3 万トンです。そのうち約 8 割が一般家庭から出されたもので、増加傾向にあります。

家庭ごみの減量・リサイクルなどを進めるうえで、あなたが特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。( は 3 つまで)

1. ごみの減量や分別方法に関する情報提供の充実
2. 環境やごみに関する学校教育の充実
3. ごみの減量化・リサイクルに関する啓発活動の充実
4. 生ごみ処理容器・処理機器購入補助制度の充実
5. 資源物の回収品目の増加
6. 家庭ごみの有料化
7. 市民と行政などの協働の取り組みの充実
8. 事業者が製造段階からごみになりにくい商品を開発
9. 事業者が過剰包装やレジ袋を削減
10. 事業者が買い替え時に不用品を回収
11. 事業者によるリサイクル費用負担の拡大
12. 法律の制定など、国・県に対する働きかけ
13. その他(具体的に： )

問 1 6 龍ヶ崎市では、安心・安全なごみ処理のため、毎年 16 億円もの税金が使われています。ごみの排出量に関係のない現在の仕組みは不公平であるため、電気や水道などのようにサービスに応じた費用負担として、減量に心がける方は負担が軽く、ごみを多く出す方は相応の負担となる仕組みとすべきとの意見がありますが、あなたはどうかお考えですか。( は 1 つ)

1. すべて税金でまかなうべき
2. 一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき
3. すべてごみを出す量に応じて負担すべき
4. わからない
5. その他(具体的に： )

問 1 7 仮に、ごみの排出量に応じた費用負担の仕組みとなった場合、あなたは具体的にどのような取り組みを行いますか。( はいくつでも)

1. 使い捨て商品の購入を控える
2. 詰め替え商品を積極的に利用する
3. 過剰包装やレジ袋を断る
4. 買い物袋(マイバッグ)を持参する
5. 計画的に買い物を行い、無駄な物をできるだけ購入しないようにする
6. 食べ残しが出ないようにする
7. 生ごみは、水を切り、減量してから出す
8. 生ごみ処理機などを使用して、生ごみを減量・堆肥化する
9. 物はできるだけ長く使い、故障したものは、修理して再度使用する
10. リサイクルショップやバザーなどを積極的に利用する
11. 燃やすごみにならないよう、雑がみの分別を徹底して資源物に出す
12. カン・ビン・ペットボトルの分別を徹底して資源物に出す
13. その他(具体的に： )

問18 家庭からごみや資源物を出す際は、分別の方法や日時などのルールが決められていますが、あなたが利用している集積所やリサイクルステーションではきちんとルールが守られていると思いますか。( は1つ)

1. きちんと守られている
2. だいたい守られている
3. あまり守られていない
4. まったく守られていない
5. わからない

問19 具体的にどのようなルール違反ですか。( はいくつでも)

1. 収集日以外や夜間にごみが出されている
2. 指定袋以外の袋でごみが出されている
3. カンやビンが燃やさないごみに混じって出されている
4. 雑がみやダンボールが燃やすごみに混じって出されている
5. 違う地区の人が出している
6. 店舗や事業所が出している
7. その他(具体的に: )

問20 ごみ出しのルールを徹底させるためには、どのような対策をとるべきだと思いますか。( は2つまで)

1. 指定袋に名前を書いて出してもらう
2. ルール違反のごみは収集せずに、警告シールを貼って放置する
3. 罰金などの厳しい罰則を課す
4. 広報紙や回覧などで啓発を徹底する
5. 地区の当番が指導に当たる
6. 特別の対策は必要ない
7. その他(具体的に: )

ごみ処理に関するご意見・ご要望等がありましたら、以下の自由意見欄にお書き下さい。

〔自由意見欄〕
-----
-----
-----
-----
-----
-----

このページで終わりです。多くの質問にお答えいただき、ご協力ありがとうございました。

# 「ごみ処理基本計画に関する事業者意識調査」アンケート用紙

問1 あなたの事業所について、下記の項目をお答えください。( は各項目1つ)

業種		
番号	業 種	内 容
1	事務所 (オフィスビル)	業務内容が事務, 営業等のデスクワーク中心である事務所, 本支社・支店, 営業所, 複数の事務系の会社が入居しているビルも含む
2	飲食店	ファミリーレストラン, ファーストフード店, 食堂, 喫茶店, 酒場など
3	卸売・小売店	卸売業, 食品, 酒類, 家具, 家電, 薬品等販売店, コンビニエンスストア, スーパーマーケットなど
4	食料品製造業	食料品の製造, 加工を行う工場, 施設など
5	その他の製造業	食料品製造以外の製造, 加工を行う工場, 施設など
6	ホテル・結婚式場等	宿泊施設を持つもの, 式場施設を持つもの, あるいは両方兼ね備える施設
7	倉庫, 流通センター	商品等の集積, 保管, 集配等を行っている施設
8	医療業	病院, 診療所, 歯科診療所など
9	その他	雑居ビル(事務所, 飲食店等が同居しているビル), 劇場・映画館, 文化施設, 体育施設, 公民館, 学校・塾など

平成19年11月1日現在における従業員数(経営者, パート, アルバイト等含む)

1. 1~4人                      2. 5~9人                      3. 10~29人                      4. 30~49人  
5. 50~99人                      6. 100~299人                      7. 300人以上

延べ床面積(テナントとして入居している場合は, 貴事業所のみ延べ床面積)

1. 100m<sup>2</sup>未満                      2. 100m<sup>2</sup>~200 m<sup>2</sup>未満                      3. 200m<sup>2</sup>~500 m<sup>2</sup>未満  
4. 500m<sup>2</sup>~1,000 m<sup>2</sup>未満                      5. 1,000m<sup>2</sup>~3,000 m<sup>2</sup>未満                      6. 3,000 m<sup>2</sup>以上

貴事業所の日平均客数(学校は「生徒数」, 病院や診療所は「入院・通院患者数」)

1. 0人(集客業ではない)                      2. 50人未満                      3. 51~100人  
4. 101~199人                      5. 200~499人                      6. 500人以上

問2 貴事業所に, ごみや資源物の保管場所・集積場はありますか。( は1つ)

1. 事業所専用のものがある  
2. 他事業所と共同で使用するものがある  
3. ない

問3 貴事業所におけるごみの減量やリサイクルへの取り組みについてお答えください。

( は1つ )

1. 重要な問題なので、積極的に取り組んでいる
2. 重要な問題なので、今後、具体的にできることを積極的に推進したい
3. 重要性は理解できるので、行政で行う施策に積極的に協力していきたい
4. 重要性は理解できるので、できる範囲で協力していきたい
5. 重要性は理解できるが、スペース・コスト等の問題から、協力は難しい
6. 当事業所にはあまり関係がないと思う
7. その他(具体的に: )

問4 貴事業所で、ごみの減量やリサイクルを行う場合の問題点は何ですか。( は3つまで )

1. 適当な資源回収業者が見あたらない
2. 他のごみと分けるのに手間がかかる
3. 保管等のためのスペースがとれない
4. 衛生上問題がある
5. 経済的なメリットが少ない
6. 特に問題はない
7. わからない
8. その他(具体的に: )

問5 貴事業所でのリサイクル品の使用状況についてお答えください。( はいくつでも )

1. できるかぎりリサイクル品を使用するようにしている
2. O A用紙はリサイクル用紙を使用しているが、その他は特に使用していない
3. 従業員それぞれにまかせており、事業所でリサイクル品使用の指示はしていない
4. リサイクル品は価格が高いため、できれば使用したくない
5. リサイクル品は品質に問題があるため、できれば使用したくない
6. 業務特性を考慮すると、リサイクル品を使用することは困難である
7. 業務特性を考慮すると、リサイクル品を使用する必要性がない
8. わからない
9. その他(具体的に: )

問6 現在、ごみとして排出しているもののうち、今後、新たに分別してリサイクルできると思う品目はありますか。( はいくつでも )

1. ダンボール
2. O A用紙
3. その他の古紙類
4. びん類
5. 缶類
6. ペットボトル
7. プラスチック類
8. 生ごみ
9. 木・枝類
10. コスト、保管スペース等の問題から、新たに分別はできない
11. すでに分別してリサイクルしている
12. その他(具体的に: )

問7 問6において、「1～9」に をつけた方にお伺いします。新たに分別する場合、貴事業所では、具体的にどのような取り組みができると考えますか。( はいくつでも)

1. 資源品として資源回収業者に引き渡す
2. 納入業者、製造メーカーに返却する
3. 生ごみを堆肥化、飼料化するなどして利用する
4. 木・枝類をチップ化、堆肥化するなどして利用する
5. 自社内で再生原料等に再生利用する
6. 再生原料として購入してくれる業者に売却する
7. その他(具体的に: )

問8 事業系ごみのリサイクルを推進するためには何が必要だと考えますか。( は3つまで)

1. 行政による資源回収システムの整備
2. 事業者の意識改革と実践
3. リサイクル実施への補助制度の創設
4. 製造メーカーによる資源物引き取りの徹底
5. 行政からのリサイクルに関する情報提供・啓発活動の充実
6. 事業者間での情報交換、情報の共有化の推進
7. 事業者がリサイクルしやすい製品を開発
8. 事業者によるリサイクル費用負担の拡大
9. 法律の制定など、国・県に対する働きかけ
10. その他(具体的に: )

問9 今後、クリーンプラザ・龍 へのごみの搬入料金または許可収集業者・処理業者への委託料金が上がった場合、ごみ処理はどうしますか。( は1つ)

1. 大幅な値上げでなければ現在と同様の処理とする
2. ごみの減量努力を凶ったうえで、現在と同様の処理とする
3. もっと安い民間の処理業者に委託する
4. わからない
5. その他(具体的に: )

クリーンプラザ・龍：龍ヶ崎市等のごみを処理している龍ヶ崎地方塵芥処理組合のごみ処理施設

問 1 0 貴事業所から排出されるごみ・資源物について，分別状況，主な排出方法および排出頻度をごみの種類別に記入してください。

	分別状況 以下の選択肢から 1 つ選んで，各欄に 番号を記入してくだ さい。 【選択肢】 1. ごみとして排出 2. 資源物として分 別して排出 3. ごみそのものが 出ない	主な排出方法 以下の選択肢から 1 つ選んで，各欄に 番号を記入してください。 【選択肢】 1. 「クリーンプラザ・龍」に自社で搬入 2. 資源物回収ステーションに排出 3. 民間の収集業者(市の許可業者)に委託 4. 民間の処理業者に委託 5. 納入業者へ返却 6. 自社で再生利用 7. 自社で処理・処分(堆肥化，埋立等) 8. その他(具体的な方法も記載ください)	排出頻度 平均的な排出 頻度を記載して ください。 【記載例】 月 2 回の場合 週 ① ( 2 ) 回程度 年
A ダンボール			週 月 ( ) 回程度 年
B 新聞紙・雑 誌			週 月 ( ) 回程度 年
C OA 用紙			週 月 ( ) 回程度 年
D その他の 紙類			週 月 ( ) 回程度 年
E 生ごみ			週 月 ( ) 回程度 年
F 木くず			週 月 ( ) 回程度 年
G 布類			週 月 ( ) 回程度 年
H びん類			週 月 ( ) 回程度 年
I 缶類			週 月 ( ) 回程度 年
J ペットボト ル			週 月 ( ) 回程度 年
K プラスチック類			週 月 ( ) 回程度 年
L 金属くず			週 月 ( ) 回程度 年
M ガラス・陶 磁器類			週 月 ( ) 回程度 年
N その他 ( )			週 月 ( ) 回程度 年
( )			週 月 ( ) 回程度 年

このページで終わりです。多くの質問にお答えいただき，ご協力ありがとうございました。

龍ヶ崎市ごみ処理基本計画策定 アンケート調査結果報告書

発行日 平成 20 年 3 月

業務名 龍ヶ崎地方塵芥処理組合ごみ処理基本計画策定等業務委託

発注者 龍ヶ崎地方塵芥処理組合

受託者 日本技術開発株式会社